

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第31週 > 手足口病の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< インフルエンザ >

第31週の定点当たり報告数は0.56であり、第28週以降増加が続いていることに加えて、前週の定点当たり報告数が倍増した



病原体情報
P.9-13

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン / ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年



速報
P.14-16

パラチフス 2008年(2009年3月10日現在)



海外感染症情報
P.17-18

パンデミック(H1N1)2009 短報 : no.6 - パンデミックワクチンの安全性 / パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(31週)
P.20-25



31週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

< 第31週コメント > 8月5日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核338例

3類感染症

コレラ1例

感染地域: タイ

細菌性赤痢3例

感染地域: 埼玉県1例、エジプト1例、タンザニア1例

腸管出血性大腸菌感染症136例(有症者81例、HUS 1例)

感染地域: 国内133例、中国1例、韓国1例、インドネシア1例

国内の多い感染地域: 宮城県14例*、香川県12例*、東京都10例、石川県9例*、宮城県6例、長崎県6例、群馬県5例、千葉県5例、富山県5例、愛知県4例、福岡県4例

*いずれの県も、全例が保育園に関連した集団発生

年齢群: 0歳(5例)、1歳(5例)、2歳(23例)、3歳(11例)、4歳(11例)、5歳(4例)、6歳(1例)、7歳(3例)、8歳(3例)、9歳(2例)、10代(15例)、20代(16例)、30代(11例)、40代(6例)、50代(8例)、60代(6例)、70代(2例)、80代(4例)

血清型・毒素型: O26 VT1(46例)、O157 VT1・VT2(43例)、O157 VT2(22例)、O103 VT1(7例)、O157 VT不明(6例)、O26 VT1・VT2(2例)、O157 VT1(1例)、O26 VT不明(1例)、O111 VT1(1例)、O124 VT1・VT2(1例)、その他・不明(6例)

累積報告数: 1,594例(有症者1,039例、うちHUS 27例)

腸チフス1例

感染地域: カンボジア

4類感染症

E型肝炎1例

感染地域: 北海道__感染源: 豚肉(ホルモン)

A型肝炎3例

感染地域: 福島県1例、韓国2例

オウム病1例

感染地域: 栃木県__感染源: ハト

日本紅斑熱5例

感染地域: 熊本県4例、千葉県1例

レジオネラ症19例(肺炎型17例、ポンティアック型2例)

感染地域: 愛知県3例、北海道1例(温泉)、宮城県1例、埼玉県1例、千葉県1例、新潟県1例、石川県1例、山梨県1例、長野県1例、静岡県1例、兵庫県1例、和歌山県1例、福島県/大阪府1例(温泉)、国内(都道府県不明)3例、中国1例

年齢群: 40代(1例)、50代(4例)、60代(7例)、70代(6例)、80代(1例)

5類感染症

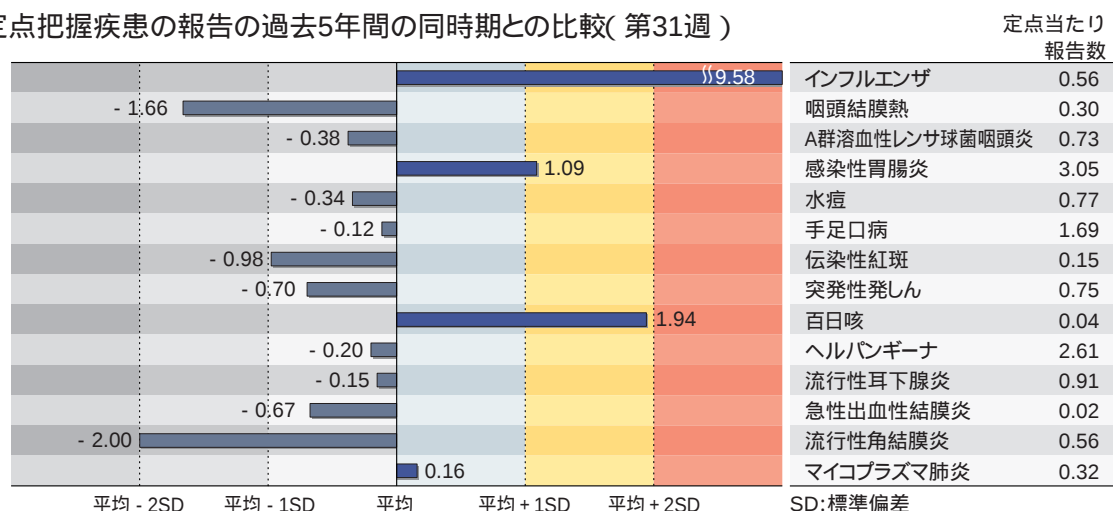
アメーバ赤痢10例(腸管アメーバ症8例、腸管外アメーバ症2例)
 感染地域: 埼玉県1例、東京都1例、愛知県1例、滋賀県1例、京都府1例、大阪府1例、福岡県1例、国内(都道府県不明) 2例、マレーシア1例
 感染経路: 経口感染2例、性的接触2例(同性間2例)、不明6例
 ウイルス性肝炎3例 B型3例__感染経路: 性的接触3例(異性間2例、異性間・同性間不明1例)
 急性脳炎4例 サルモネラ菌1例__年齢群: 5歳
 病原体不明3例__年齢群: 3歳(1例)、20代(1例)、70代(1例)
 クロイツフェルト・ヤコブ病3例
 孤発性プリオン病古典型2例
 遺伝性プリオン病家族性1例
 後天性免疫不全症候群18例(AIDS 6例、無症候11例、その他1例)
 感染地域: 国内14例、中国1例、国外(国不明) 1例、国内・国外不明2例
 感染経路: 性的接触17例(異性間4例、同性間13例)、不明1例
 ジアルジア症1例 感染地域: 石川県
 梅毒5例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、無症候2例)
 破傷風2例 年齢群: 60代(1例)、70代(1例)
 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例
 遺伝子型: 不明__菌検出検体: 腹水
 風しん5例(検査診断例1例、臨床診断例4例)
 感染地域: 新潟県3例、神奈川県1例、国内(都道府県不明) 1例
 年齢群: 1歳(3例)、15～19歳(2例)
 麻しん8例[麻しん(検査診断例1例、臨床診断例4例)、修飾麻しん(検査診断例) 3例]
 感染地域: 国内8例
 国内の感染地域: 神奈川県3例、福岡県2例、千葉県1例、岐阜県1例、大阪府1例
 年齢群: 1歳(1例)、2歳(2例)、3歳(1例)、5～9歳(2例)、15～19歳(1例)、40代(1例)
 累積報告数: 528例[麻しん(検査診断例162例、臨床診断例230例)、修飾麻しん(検査診断例136例)]

(補)他に2009年第30週までに診断されたものの報告遅れとして、パラチフス1例(感染地域: スリランカ)、エキノコックス症1例(多包条虫__感染地域: 北海道)、マラリア1例(三日熱__感染地域: インドネシア)、ライム病1例(感染地域: ドイツ)、急性脳炎6例(ヒトヘルペスウイルス6型2例(0歳、1歳__死亡)、RSウイルス1例(2歳)、パラインフルエンザ3型ウイルス1例(1歳)、病原体不明2例(0歳、40代)、風しん1例(臨床診断例、感染地域: 群馬県、年齢群: 30～34歳)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第31週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第28週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では沖縄県(11.79)、大阪府(1.68)、東京都(0.97)、滋賀県(0.96)、奈良県(0.95)、長崎県(0.79)、千葉県(0.57)、石川県(0.50)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は193例と3週連続で増加した。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約80%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では北海道(0.94)、石川県(0.62)、高知県(0.53)、宮崎県(0.53)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第24週以降減少が続いている。都道府県別では宮崎県(1.56)、富山県(1.46)、福井県(1.41)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では大分県(7.7)、宮崎県(6.3)、福井県(5.9)が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では徳島県(1.83)、宮崎県(1.56)、石川県(1.41)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第20週以降増加が続いている。都道府県別では福岡県(7.5)、愛媛県(6.6)、佐賀県(6.1)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では神奈川県(0.85)、東京都(0.31)、山梨県(0.25)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では宮崎県(0.72)、愛媛県(0.41)、徳島県(0.13)が多い。

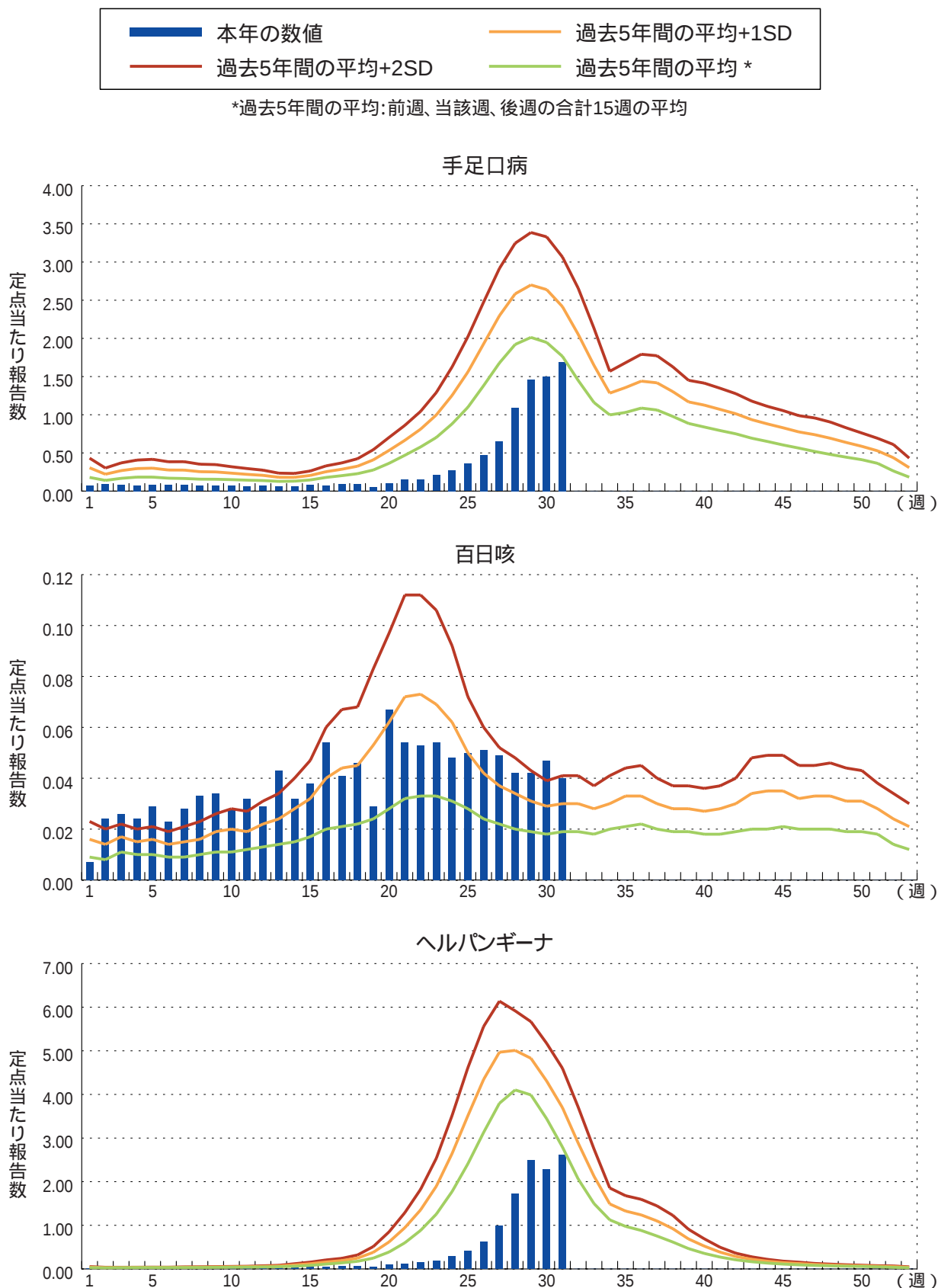
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では大分県(7.7)、三重県(6.0)、島根県(5.8)が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(4.3)、長崎県(2.8)、佐賀県(2.7)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第26週以降減少が続いている。都道府県別では沖縄県(2.29)、宮城県(1.42)、青森県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2009年第1～31週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザの典型的な臨床像は、1～4日間の潜伏期間を経て、発熱(38 以上の高熱)、咳、咽頭痛、鼻汁・鼻閉等の急性呼吸器症状、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現することである。これは、従来からヒトの世界で流行している季節性インフルエンザ[A/H1N1亜型(Aソ連型)、A/H3N2亜型(A香港型)、B型]なる)の症状とされているものであるが、2009年4月にその存在が明らかとなった新型インフルエンザA/H1N1においても、その臨床像はほぼ同様である。迅速抗原検査を含めて、現在臨床現場では従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザを迅速に判別する方法はない。感染症発生動向調査では、全国約4,800カ所のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析しており、本サーベイランスでは、従来の季節性インフルエンザに加えて、新型インフルエンザも含まれて報告されていることを前提として解析を行っていくべきと考えられる。

感染症発生動向調査によると、2009年第31週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.56(報告数2,655)であり、第28週以降増加が続いていることに加えて、前週(第30週)の定点当たり報告数(0.28)が倍増した(図1)。都道府県別では沖縄県(11.79)、大阪府(1.68)、東京都(0.97)、滋賀県(0.96)、奈良県(0.95)、長崎県(0.79)、千葉県(0.57)、石川県(0.50)の順となっている(図2)。33都道府県で前週より患者報告数が増加しており、特に東京都及びその周辺地域、大阪府及びその周辺地域、沖縄県での増加が目立つ。また、19都府県の71保健所地域で定点当たり報告数が1.0を超え、4保健所地域(大阪府1、沖縄県3)では定点当たり報告数は10.0を超えている。インフルエンザの流行地域およびそのレベルは共に増大している。

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1999～2009年第31週)

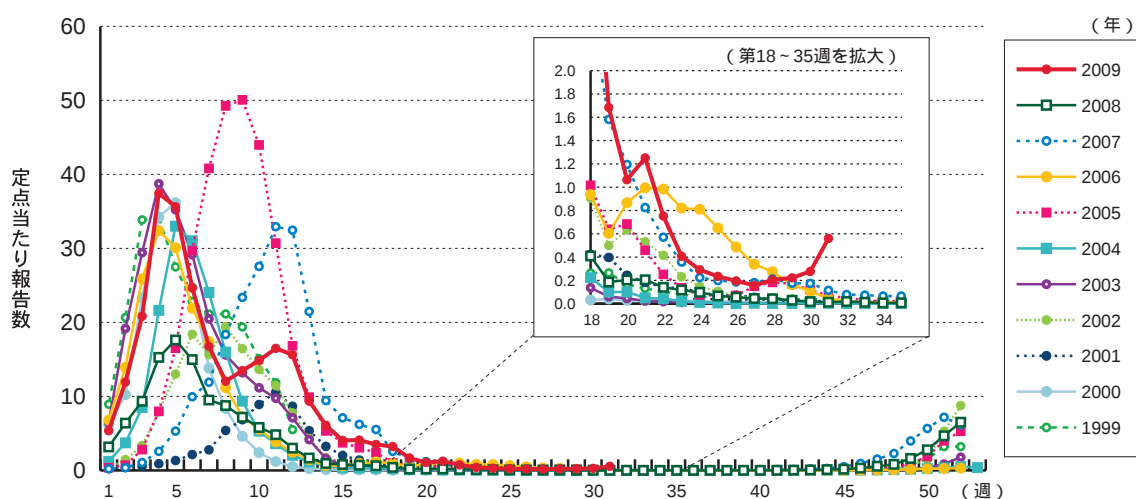
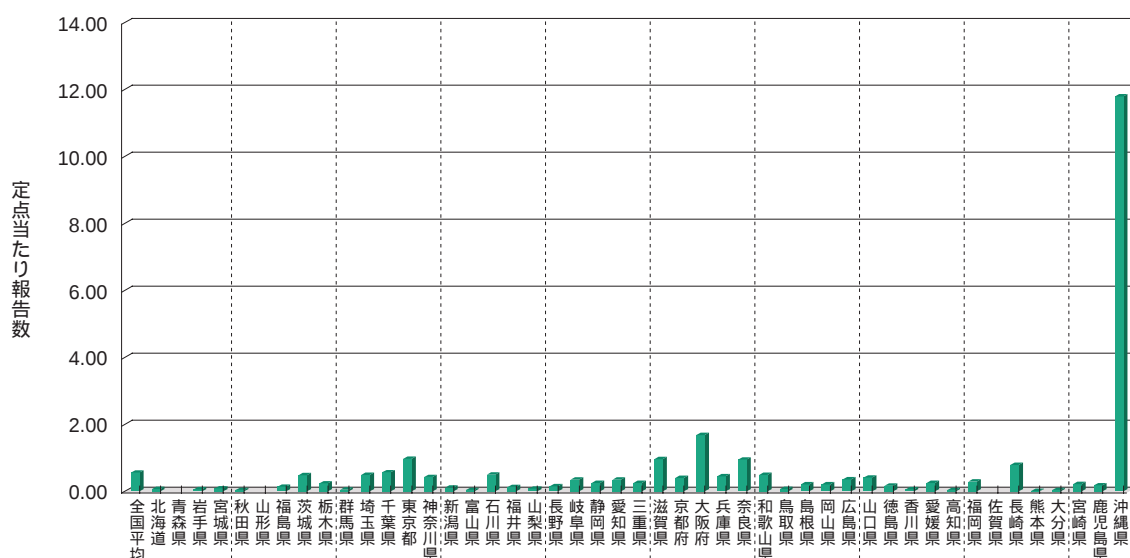
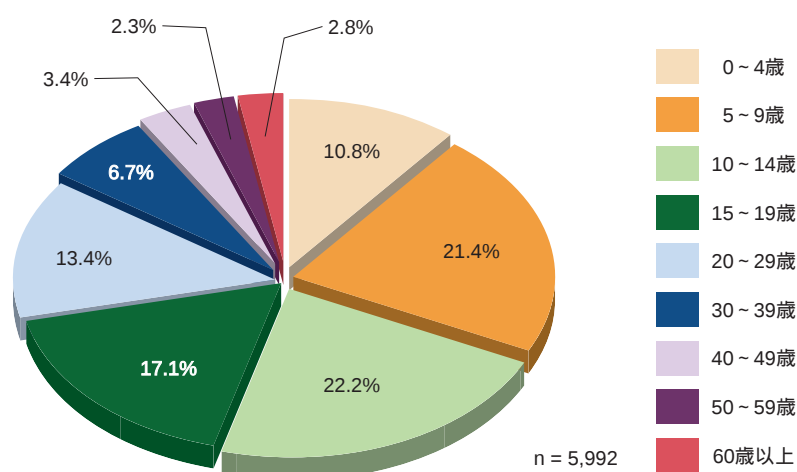


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2009年第31週)



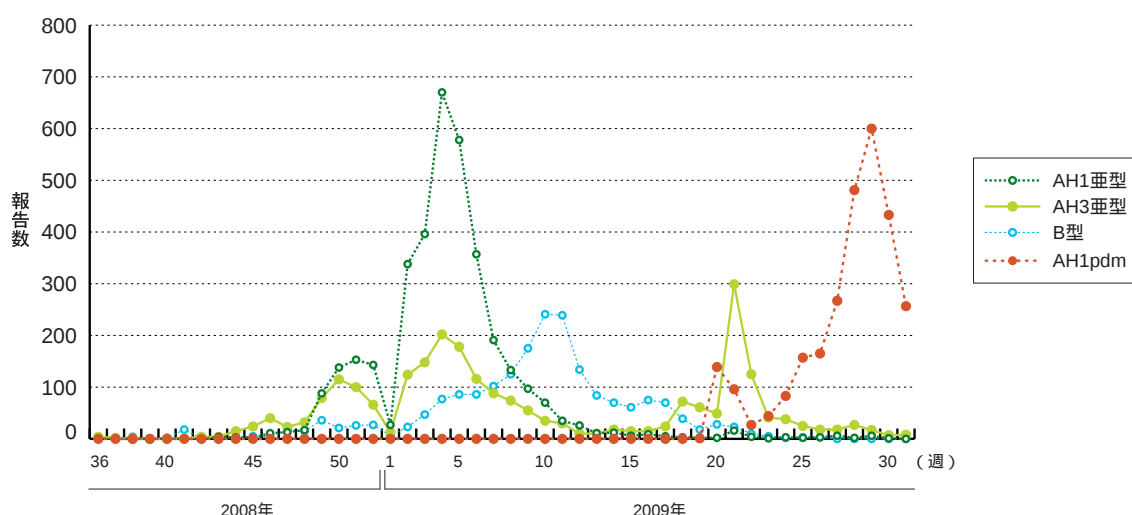
患者報告数が継続的に増加し始めた第28週以降第31週までの定点当たり累積報告数は1.54 (累積患者報告数5,992)で、年齢群別では10～14歳1,329例(22.2%)、5～9歳1,284例(21.4%)、15～19歳1,022例(17.1%)、20～29歳800例(13.4%)、0～4歳649例(10.8%)の順となっている(図3)。従来、インフルエンザの年齢群別報告数は、5～9歳、0～4歳、10～14歳、30～39歳、20～29歳の年齢群の順で多かったもので、10代を中心に発症者がみられている新型インフルエンザが大きく影響している可能性が高い。

図3. インフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2009年第28～31週)



第19～31週のインフルエンザウイルスの検出は、AH1亜型(Aソ連型)48件、AH3亜型(A香港型)733件、B型92件の報告があり、またAH1pdm(新型インフルエンザウイルス)は、2,753件の分離・検出が報告されているため、AH1pdmはこの期間中の分離・検出全体の75.9%を占めている。但し、AH1pdmの大半は、これまでは新型インフルエンザの全数報告の一環として、診断のために地方衛生研究所でRT-PCR検査が実施されてきた結果が反映されたものであり(図4)、従来の季節性インフルエンザと新型インフルエンザの患者発生の割合を正確に示しているものではない。

図4. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移(2008年第36週～2009年第31週)
(病原微生物検出情報: 2009年8月6日現在報告数)



インフルエンザの患者報告数は、昨年までは、例年夏季休暇中に年間を通じて最も減少していた。しかし2009年は、国内の大半の学校が夏季休暇中となっているにもかかわらず、インフルエンザの患者報告数の増加が続いている。また、最近の年齢群別の患者発生割合をみても、現在のインフルエンザの報告数の大半は新型インフルエンザによると考えるべきであろう。今後のインフルエンザ、新型インフルエンザの発生動向を予測することは困難であるが、全国の学校が夏季休暇を終了する9月以降早期に、本格的な流行が発生してくる可能性は十分にあると思われる。新型インフルエンザを含めたインフルエンザの発生動向には今後とも十分な注意が必要であり、ウイルスの変化並びに症状の変化に注意して監視していくべきであると思われる。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2009年8月6日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン

国立感染症研究所・感染症情報センターには地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」が報告されている。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれる。

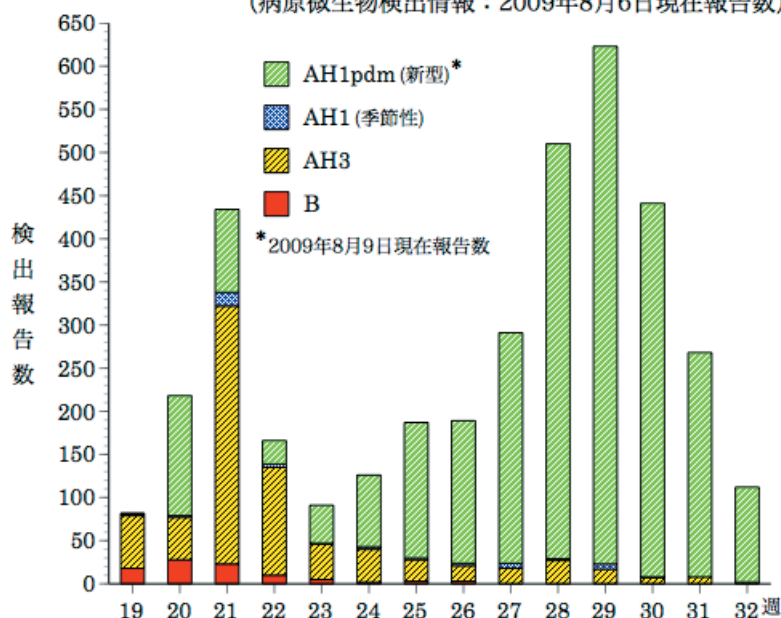
新型インフルエンザの国内発生に対応して、地研で鑑別診断のための検査が行われており、第20週以降新型インフルエンザウイルスAH1pdm(*)の検出数が増加している。

季節性インフルエンザウイルスの分離・検出は、2008年第36週～2009年第32週までに全都道府県からAH1亜型が3,584件、AH3亜型が2,473件、B型が2,014件が報告されている(2009年8月6日現在報告数)。

新型インフルエンザウイルスAH1pdm(*)は、2009年第19～32週に43都道府県から2,863件の分離・検出が報告されており(2009年8月9日現在報告分) このうち、2,286件はPCRで検出、571件はPCRで検出後ウイルス分離培養も陽性、6件はPCRでは検出されず分離培養のみで陽性となっている。また、下気道炎(気管支炎、肺炎)2件、インフルエンザ脳症2件が報告されている。

ちなみに、第19～32週に季節性インフルエンザウイルスの検出はAH1亜型(Aソ連型)48件、AH3亜型(A香港型)735件、B型92件の報告があり(2009年8月6日現在報告数) AH1pdmはこの期間の分離・検出例全体の77%を占めている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2009年第19～32週
(病原微生物検出情報：2009年8月6日現在報告数)

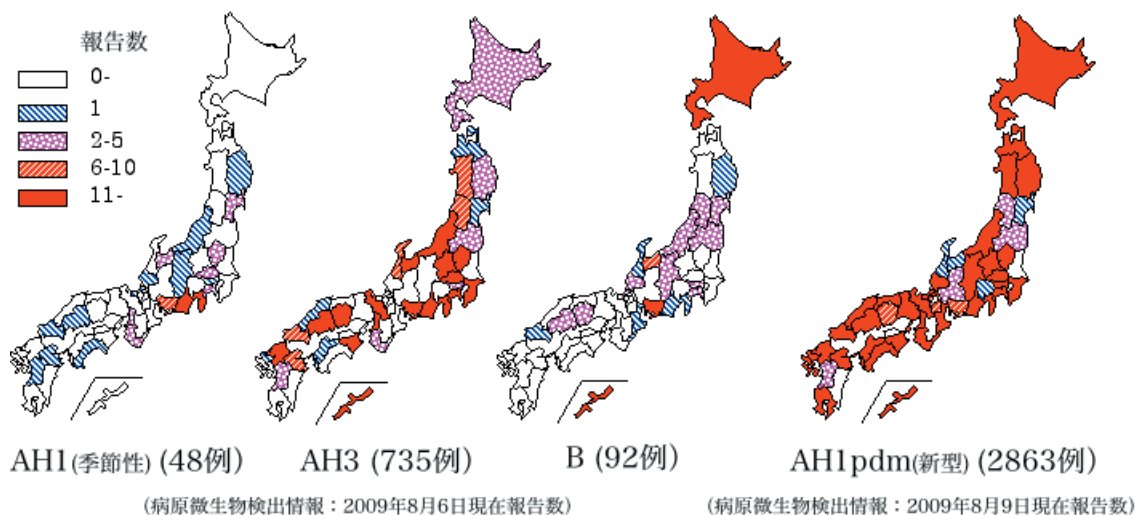


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離・検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第19週～32週



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した



直近の5週間(第28～32週)の分離・検出では新型AH1pdmが36道府県から計1,884件、季節性AH1亜型が8道府県から計9件、AH3亜型が17道府県から計61件報告されている。第27週以降、B型は報告されていない。

また、輸入例からの検出が大きく増加しており、第28～32週にAH1亜型が6件(中国4件、ニュージーランド、香港・中国各1件)、AH3亜型が23件(中国7件、香港4件、タイ、グアム各3件、フィリピン2件、カンボジア、マレーシア、パプアニューギニア、中国・シンガポール各1件)、新型AH1pdm(*)が222件(ハワイ52件、フィリピン25件、米国22件、オーストラリア20件、グアム19件、タイ14件、中国、インドネシア各11件、ニュージーランド9件、韓国、シンガポール、英国各5件、スペイン、ブラジル各3件、ミャンマー2件、ベトナム、カンボジア、マレーシア、インド、イタリア、ドイツ、オーストラリア、マーシャル諸島、フィリピン・タイ、マレーシア・フランス、シンガポール・オーストラリア、米国・ハワイ、フィジー・仏領ポリネシア、タイ・シンガポール・香港、フィリピン・タイ・オーストラリア、渡航先不明各1件)報告されている。

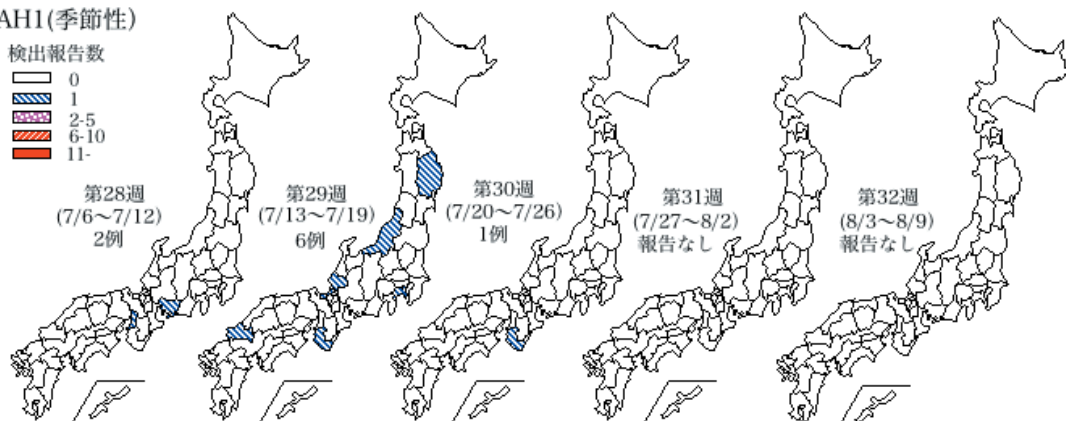
*WHOが新型インフルエンザウイルスの名称を変更したのに伴い、略称をAH1v→AH1pdmに変更。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2009年第28～32週

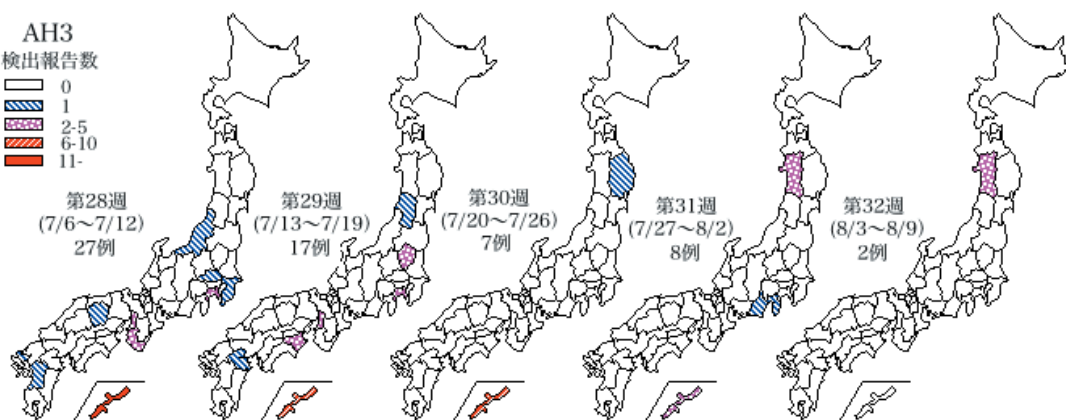
AH1(季節性)

検出報告数
 0
 1
 2-5
 6-10
 11-



AH3

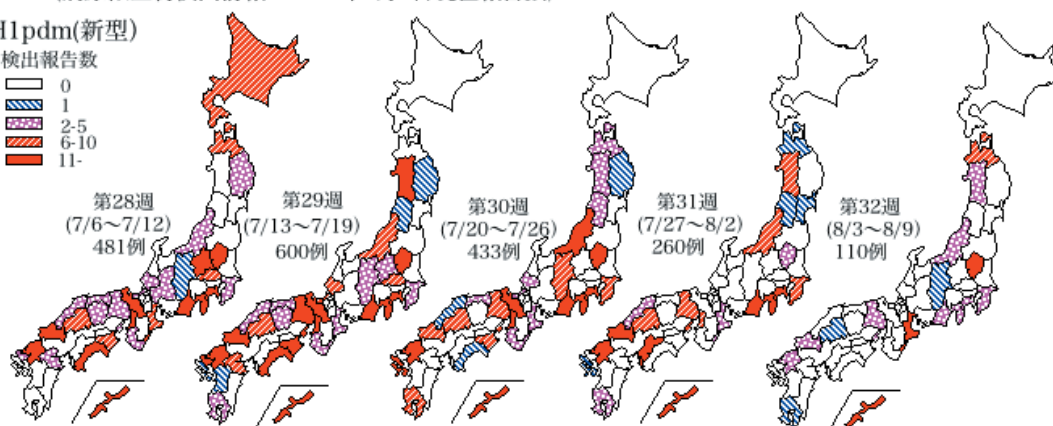
検出報告数
 0
 1
 2-5
 6-10
 11-



(病原微生物検出情報：2009年8月6日現在報告数)

AH1pdm(新型)

検出報告数
 0
 1
 2-5
 6-10
 11-



(病原微生物検出情報：2009年8月9日現在報告数)

*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

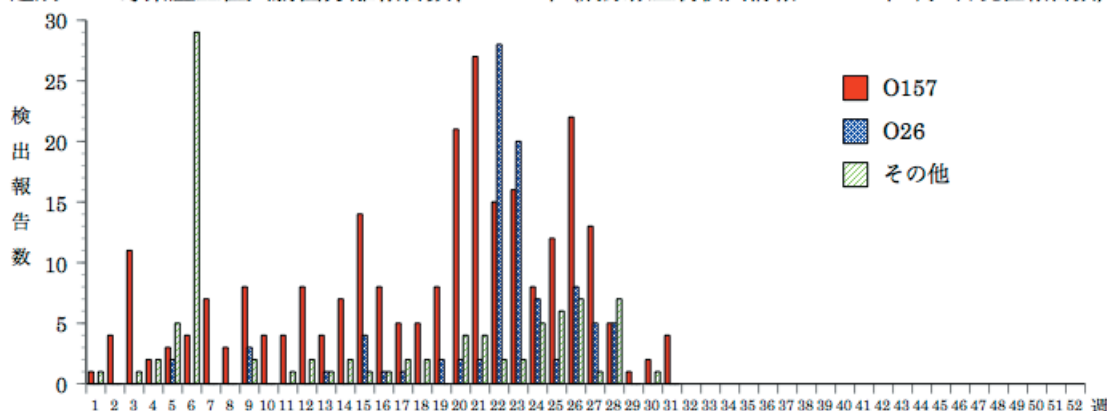
IASR

Infectious Agents Surveillance Report

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2009年

2009年第1～31週(12/29～8/2)までの検出総数は440件で、第5～6週に大分県の保育所での集団発生からO121が31件、第14～16週に新潟県のホテルでの集団食中毒からO157が17件、第20週に福岡県で中国ツアー参加者からO157が6件、第21～22週に兵庫県の福祉・養護施設での集団発生からO157が5件、第22～23週に愛媛県の保育所での集団発生からO26が46件、第26～27週に新潟県の小児集団発生からO26が5件検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2009年 (病原微生物検出情報：2009年8月6日現在報告数)



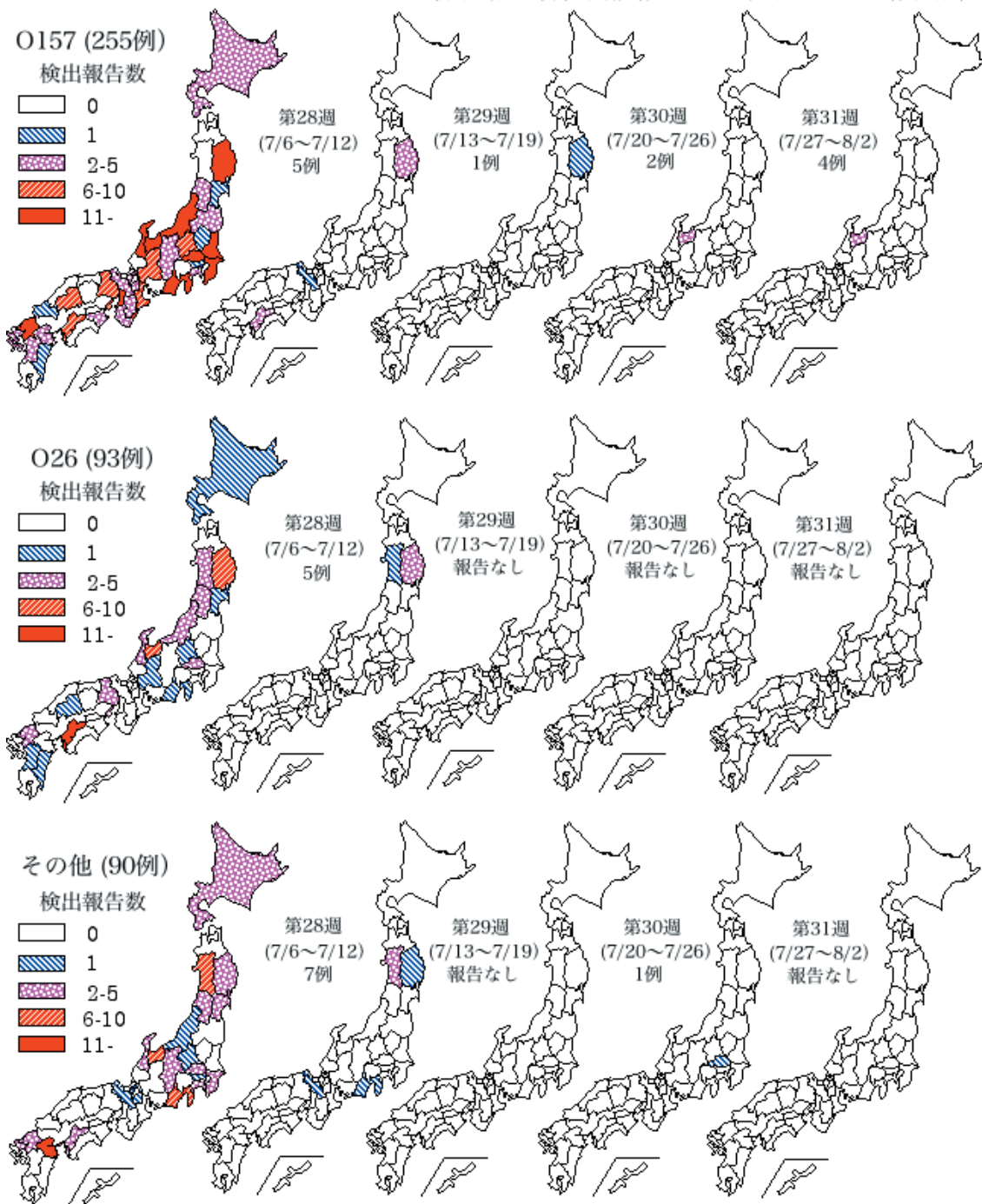
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR
Infectious Agents Surveillance Report

2009年1～8月にO157が35都道府県から255件、O26が18道県から93件、その他の血清型が21都道府県から90件報告されている。

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2009年

(病原微生物検出情報: 2009年8月6日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



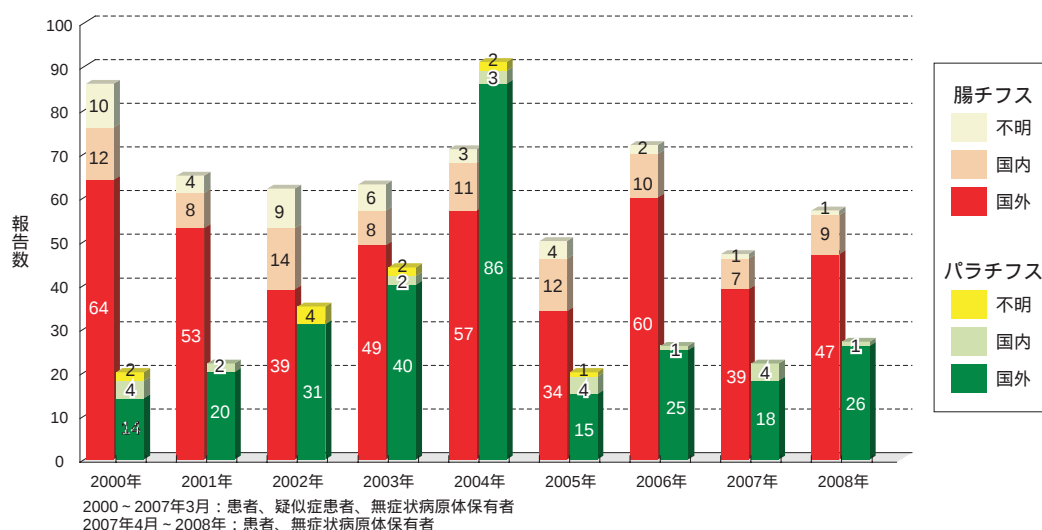
パラチフス 2008年 (2009年3月10日現在)

パラチフスはパラチフスA菌(*Salmonella Paratyphi A*)の感染によって起こる全身性感染症である。一般のサルモネラ感染症とは区別され、パラチフスとともにチフス性疾患と総称される。パラチフスA菌の感染はヒトに限って起こるので、患者および無症状病原体保有者の糞便と尿、それらに汚染された食品、水、手指が感染源となり、経口的に感染する。通常は1～3週間の潜伏期の後、発熱で発症し、熱は段階的に上昇して39～40℃に達する。主要症状は発熱の持続で、他に特記すべき症状がないことが多い。比較的徐脈(高熱のわりに脈拍数が増えない)、バラ疹(高熱時に出現して数時間で消える)、脾腫の3主徴とされるが、これらの出現率は30～50%程度である。便秘、時には下痢のみられることもある。また、昏迷状態など意識障害を起こすこともある。合併症として腸出血、それに続く腸穿孔を起こすことがあるが、ニューキノロン薬が治療に使用されるようになってからは稀となった。このように、症状はチフス菌(*Salmonella Typhi*)による腸チフスとほとんど同様であり、従来腸チフスに比べて軽症であると言われてきたが、同程度とする報告もある。最近、ニューキノロン低感受性菌の増加が問題になっているので、治療の際には注意が必要である。

パラチフスは、1999年4月1日施行の感染症法に基づく2類感染症として、疑似症患者、無症状病原体保有者を含む症例の届出が、診断した全ての医師に義務づけられた。その後、法改正(2007年4月施行)により3類感染症に変更され、現在は患者及び無症状病原体保有者が届出対象(疑似症患者は対象外)である。無症状病原体保有者は、探知された患者と食事や渡航を共にした者に対する調査などによって発見されるほか、他の疾患に伴う検査や、健診などにおいて発見されている。

2008年の報告数(診断週が2008年第1～52週で、2009年3月10日までに報告されたもの)は27例であった。感染症法施行以降の過去の報告数は、1999年(4月～)30例、2000年20例、2001年22例、2002年35例、2003年44例、2004年91例、2005年20例、2006年26例、2007年22例であり、2001年以降増加傾向が認められ、2004年の報告数は腸チフスを超える報告数となったが、2005年には著減して、その後は20例台の報告数となっている(図1)。

図1. 腸チフス・パラチフスの年別・感染地域別報告数(2000～2008年)



2008年に報告された27例はすべて患者で、無症状病原体保有者の報告はなかった。性別では男性19例、女性8例で、年齢中央値は29歳(8～67歳)であった。確定または推定として報告された感染地域は、国内1例、国外26例であった。死亡例の報告はなかった。

27例で報告された症状は、高熱26例、下痢13例、比較的徐脈8例、脾腫6例、便秘2例(2例とも下痢もあり)であった(以上は届出様式に記載されていて選択された症状)。また、その他の症状として、頭痛2例、肝機能障害1例、右季肋部痛・胆のう炎、排尿時痛、咽頭痛、全身倦怠感、嘔気各1例が自由記載により報告された。また、ジアルジアの重複感染例(感染地域はインド)が1例あった。

病原診断は細菌培養による分離・同定により行われているが、その検体の種類は、血液24例、便2例、尿1例であった。(薬剤感受性検査やファージ型別等の菌の詳細な検査は、治療上、疫学情報上有用であり、国立感染症研究所において検査を実施して動向監視しているので、菌株の提供を保健所を通じて医療機関にお願いしている。結果は病原微生物検出情報 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-cj.html> に隔月に掲載しているので、ご参考ください。)

国内を感染地域とする1例は、60代の女性(図2)で、発病月は6月(図3)、感染原因は不明であった。

国外を感染地域とする26例は、男性19例、女性7例で、年齢群別にみると、8歳1例、10代2例、20代11例、30代9例、40代1例、50代2例、(年齢中央値28.5歳)で、特に20代、30代男性が多かった(図2)。発症月の記載のあった22例の発症月をみると、多い順に、4月7例、2月、6月、12月各3例、7月、9月各2例、5月、11月各1例であり、4月が多かった(図3)。感染地域別では、南アジアが17例(インド13例、バングラデシュ3例、ネパール1例)、東南アジア9例(インドネシア5例、カンボジア、フィリピン、ミャンマー、インドネシア/タイ各1例)であり、特に南アジアが多い状況は従来どおりであった(図4)。

図2. パラチフスの感染地域別・性別・年齢群別報告数(2008年) n = 27

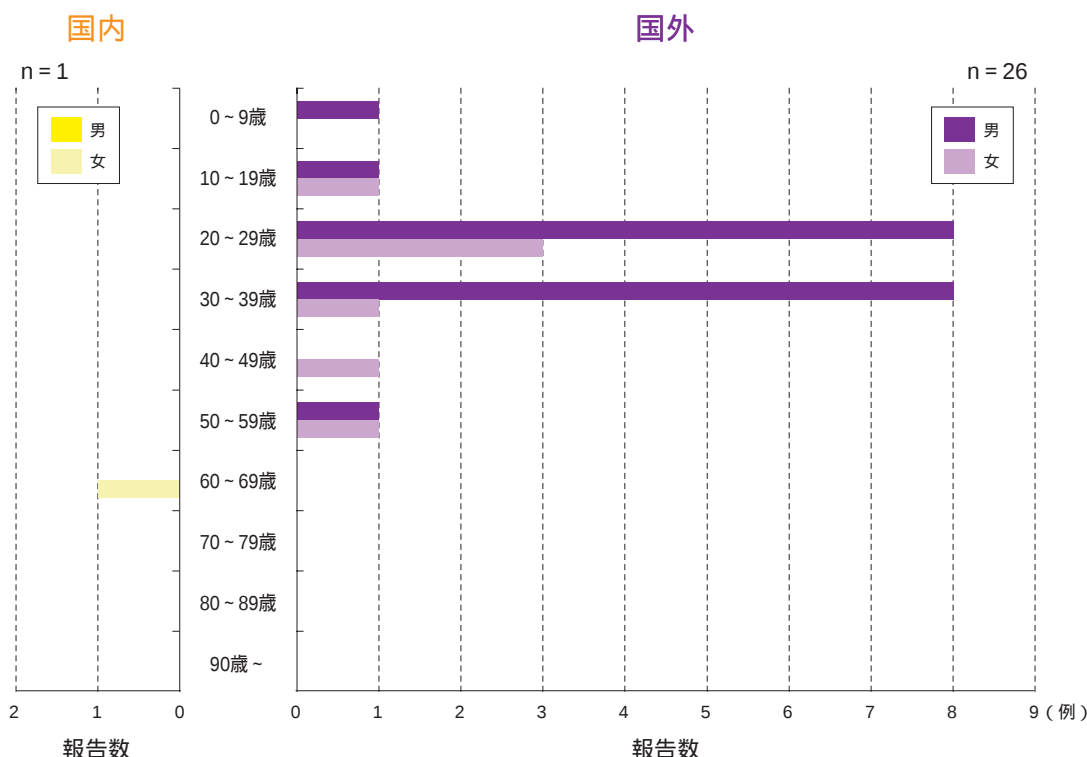


図3. パラチフスの感染地域別・発症月別報告数(2008年)

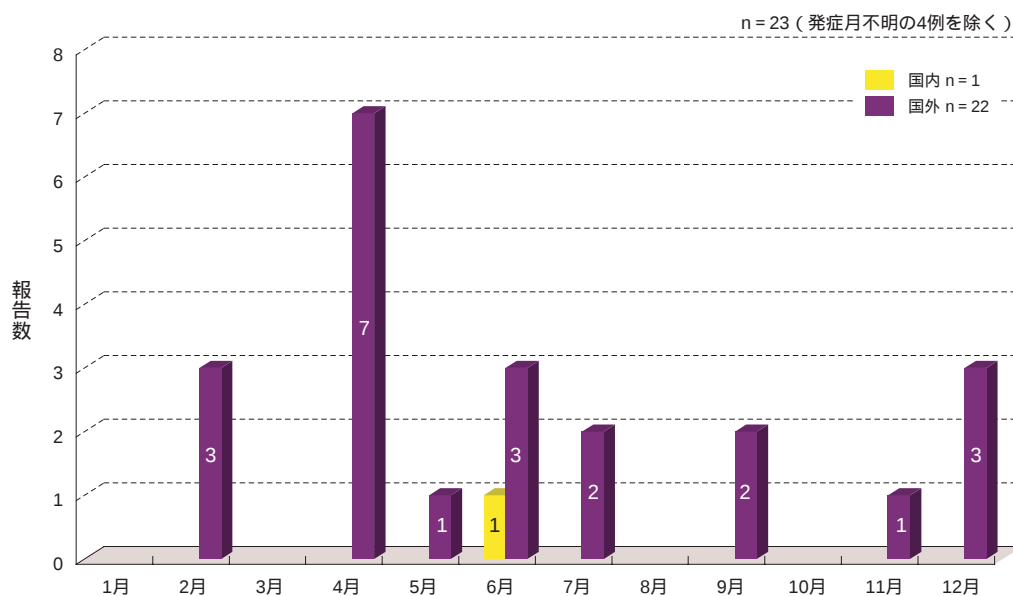
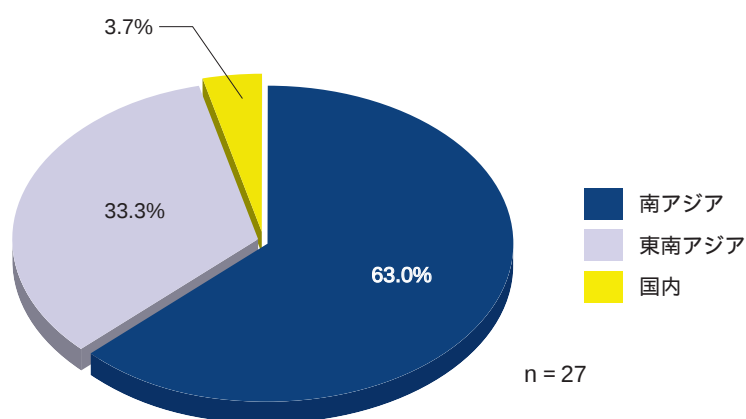


図4. パラチフスの感染地域割合(2008年)



感染症の予防の基本は感染経路の遮断であるので、日頃から手洗いの励行を心がけ、流行地への渡航などでは、生水、氷、生の魚貝類、生野菜、カットフルーツなどの飲食を避けることが肝要である。また、無理な旅行日程などによって体調をくずし、抵抗力を落とさないよう心がけることも大切である。

他に、パラチフスの発生状況に関する情報として、週報(IDWR)速報、病原微生物検出情報(IASR)特集: 腸チフス・パラチフスを参照できます。 <http://idsc.nih.go.jp/disease/paratyphoid/index.html> からご覧ください。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュースを掲載しています。

●パンデミック(H1N1)2009 短報 : no.6 - パンデミックワクチンの安全性

2009年8月6日

パンデミックワクチンの安全性についての懸念が報道されているが、一般市民の方々は、パンデミックワクチンに対する特例承認を含めた、認可の方法は、厳格であり、安全性や品質管理をないがしろにしたものではないという点を理解していただきたい。

ワクチンは、パンデミック発生時に、重症化や死亡を抑える重要な医学的介入手段である。ただし、その効果を最大限引き出すには、パンデミックワクチンが迅速に、かつ大量に使用可能でなければならない。

1957年と1968年のパンデミック時は、ワクチンが使用可能となった時期が遅く、被害軽減手段としての機能を果たさなかった。1918年のパンデミック時には、まだワクチンは開発されておらず、最終的には5千万人が死亡したと推定されている。

2007年WHOは、各国の保健省関係者、規制当局、及びワクチン製造企業とパンデミックワクチン承認に関するさまざまな問題点について、パンデミック対策の一環として話し合った[1]

パンデミックウイルスが出現してから、安全で効果のあるワクチンが利用可能となるまでの時間をいかに短くするか、という点について話し合われた。いくつかの承認方法が提示され、品質管理、安全性、有効性について注意すべき点の詳細が示された。

一括承認手続き

規制当局はパンデミックワクチンの認可、承認の一括手続き作成に非常に柔軟な姿勢を示した。

いくつかの規制当局は、パンデミックワクチンが季節性インフルエンザで確立された製造法、品質検査と管理、安全性のデータを用いて製造されていることから、全くの新製品とは考えないと判断した。

その場合において、季節性インフルエンザワクチンにおいて毎年行なわれる北半球と南半球の流行状況からワクチン株を決定する“株の変更”と同様に扱われ、承認される。

パンデミックワクチンを迅速に使用可能とするため、特例の承認方法が編み出された場合もある。例えばアメリカでは、すでに認可を受けているインフルエンザワクチンと同じ方法でパンデミックワクチンを製造する場合、通常より少ないデータで認可承認することとした。

ヨーロッパ連合では、欧州医薬品審査庁は、通常のようにすべてのデータがそろわなくても、ワクチン製造企業から、随時提出されたデータを、審査する方法を用いている。

また、ヨーロッパでは、いくつかの企業は“ mock-up ”ワクチンと呼ばれるワクチンを用いた研究を行なった。この“ mock-up ”ワクチンは、最近流行していないインフルエンザウイルスの成分をワクチンに含ませることで、新型インフルエンザワクチンを模擬している。このような研究結果は、承認段階の短縮に大いに役立つ。

安全性に対する懸念

インフルエンザワクチンは60年以上使用されてきており、この間にすべての年齢層において安全性についてのデータが記録されてきた。いくつかの深刻な有害事象が認められている一方で、これらの事象は非常に稀にしか起こっていない。

しかしながら、ワクチンの安全性に関する問題は、非常に大勢の人にワクチンが接種されれば必ず生じる。例えば、相当多くの人を用いた治験においても認められなかった有害事象が、非常に大勢の人数にワクチンを接種することで初めて明らかになることもある。

いくつかの有害事象は全くの偶然に起こりうる - つまり、ワクチンによって有害事象が起きたのではなく、接種したタイミングの問題であったりする。ワクチンによる真の有害事象ももちろん起こりうるが、接種前に予測することはできない。季節性インフルエンザワクチンのデータを考慮すると、有害事象は稀にしか起きないと推測される。

時間的制約とは、パンデミックワクチンが最初に接種された時点で、臨床データが限られているということを意味する。更なる安全性と有効性に関するデータは、ワクチン接種が開始されてから集めるしか方法はない。

これらの理由により、WHOはパンデミックワクチンを導入する予定の各国に、パンデミックワクチン接種後の安全性、有効性を集中的にモニタリングすることを勧めており、すでに多くの国でその準備が進んでいる。集団接種が行われることにより、数週間で安全性のデータが得られるという良い面もある。

ワクチン接種後のサーベイランスにより得られたデータを国際的に共有することは、ワクチン政策を変更すべきかどうか、評価、決定する上で重要である。WHOはデータの収集における共通のプロトコールと、瞬時に報告できるシステムを作成し、ウェブサイトを通じてこれらの情報を国際的に共有する予定である。

[1] Regulatory preparedness for human pandemic influenza vaccines. Report of a WHO Expert Committee on Biological Standardization. Geneva: World Health Organization, 2007

● パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数

2009年8月6日 - 更新61

前回の更新(更新60)以降、8月6日までに、新型インフルエンザの初発患者を報告した国や地域は以下の通りである。

東ティモール、パキスタン、キリバス、モルディブ、フランス領ギアナ、フォークランド諸島(英国領)、ウォリス・フツナ(フランス領)

WHO発表の症例数
(日本時間 2009年8月6日現在)

地域名	累計	
	確定例	死亡例
WHOアフリカ地域 (AFRO)	591	1
WHOアメリカ地域 (AMRO)	102,905	1,274
WHO東地中海地域 (EMRO)	2,346	7
WHOヨーロッパ地域 (EURO)	32,000 以上	53
WHO東南アジア地域 (SEARO)	11,432	83
WHO西太平洋地域 (WPRO)	28,120	43
総計	177,457	1,462

訳注：死亡例の総計が合わないが、掲載されているままを表示



感染症の話

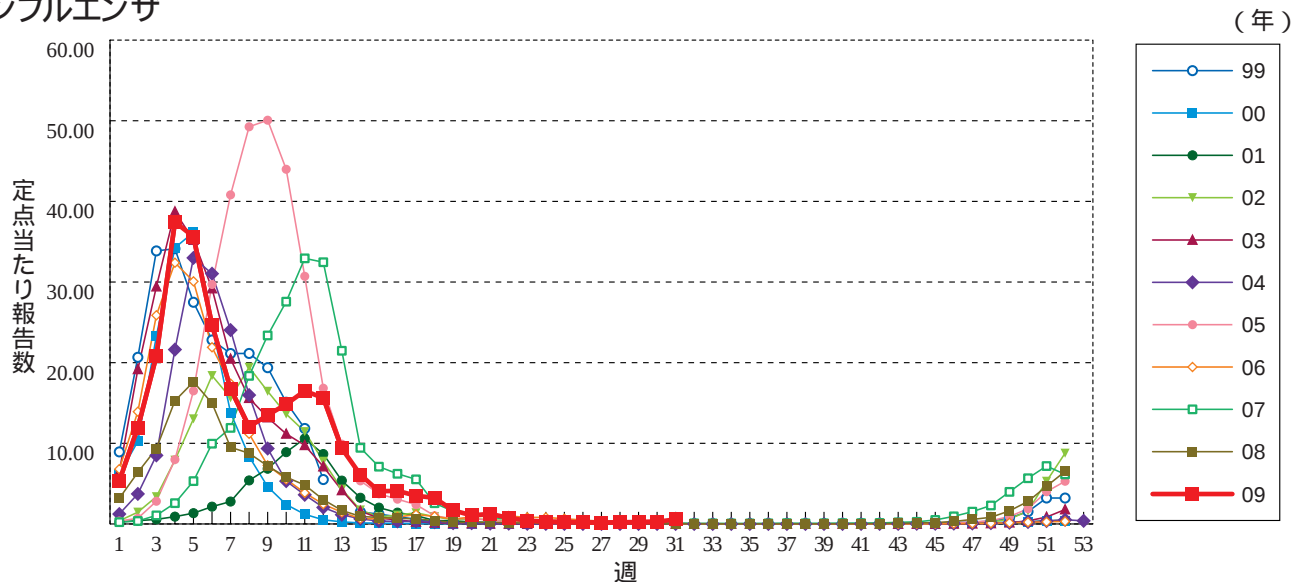
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

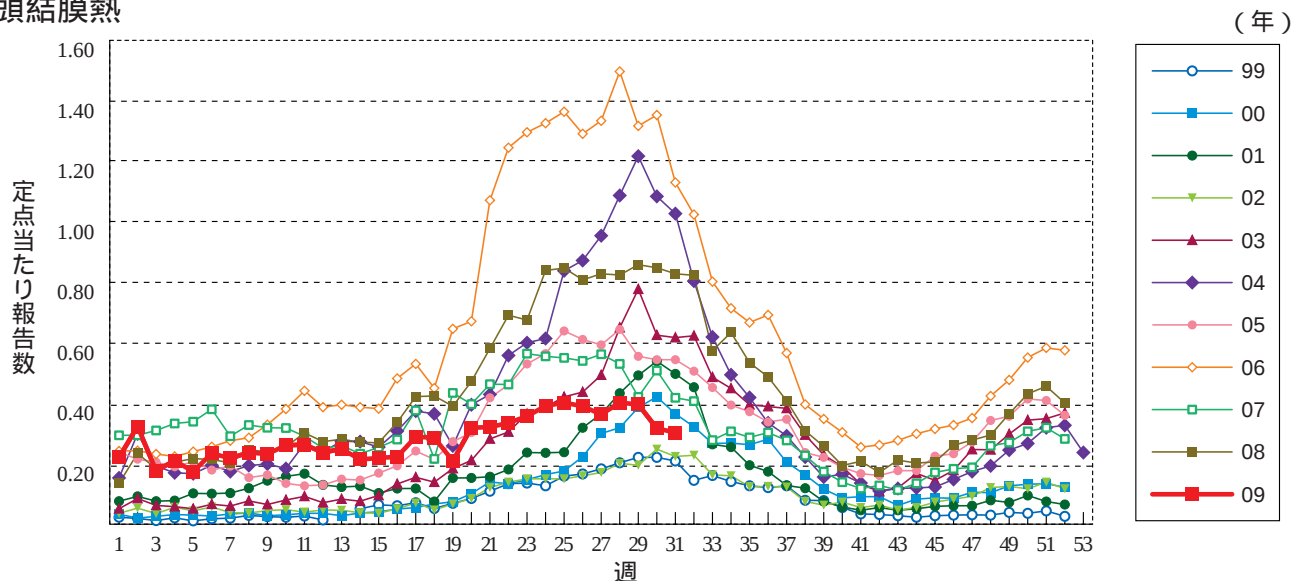


グラフ総覧(31週)

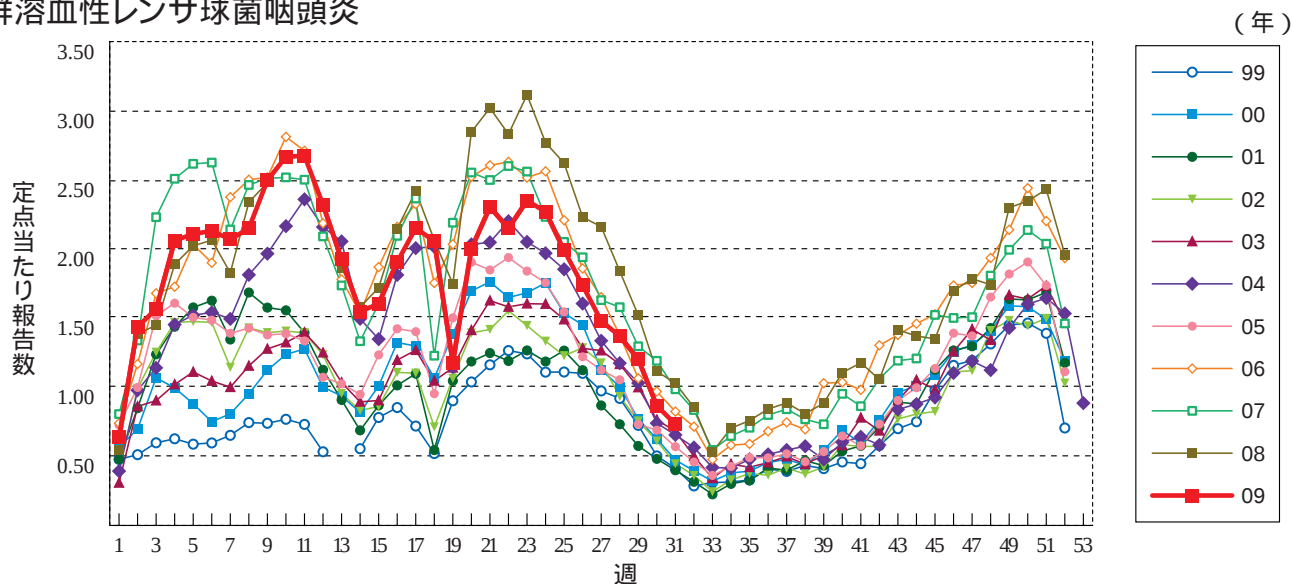
インフルエンザ



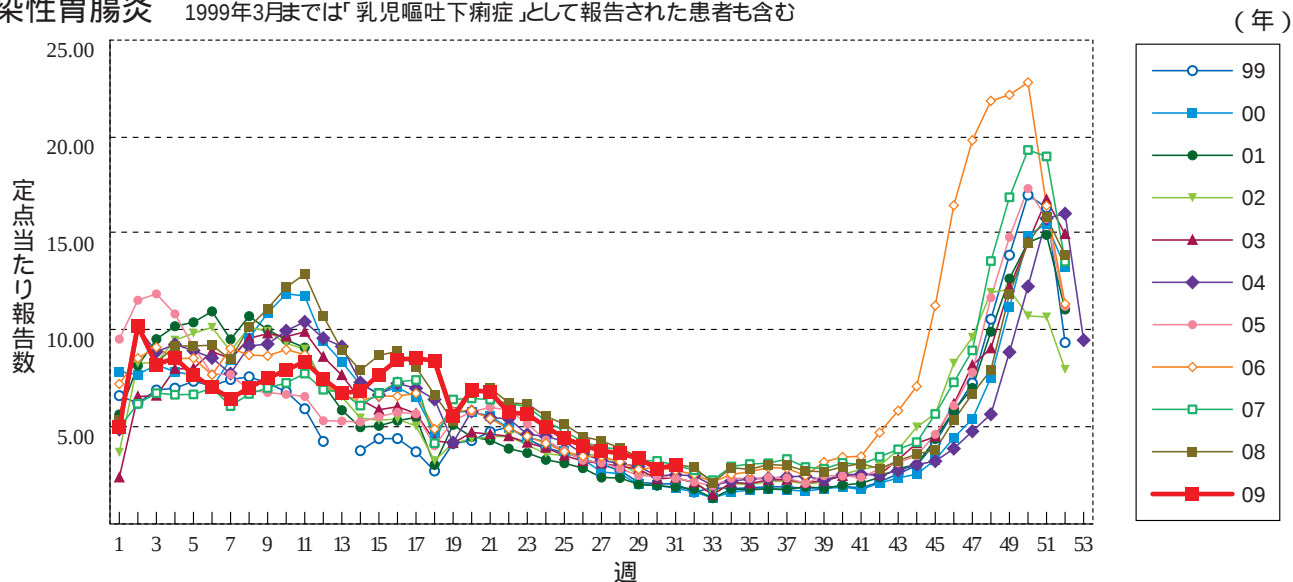
咽頭結膜熱



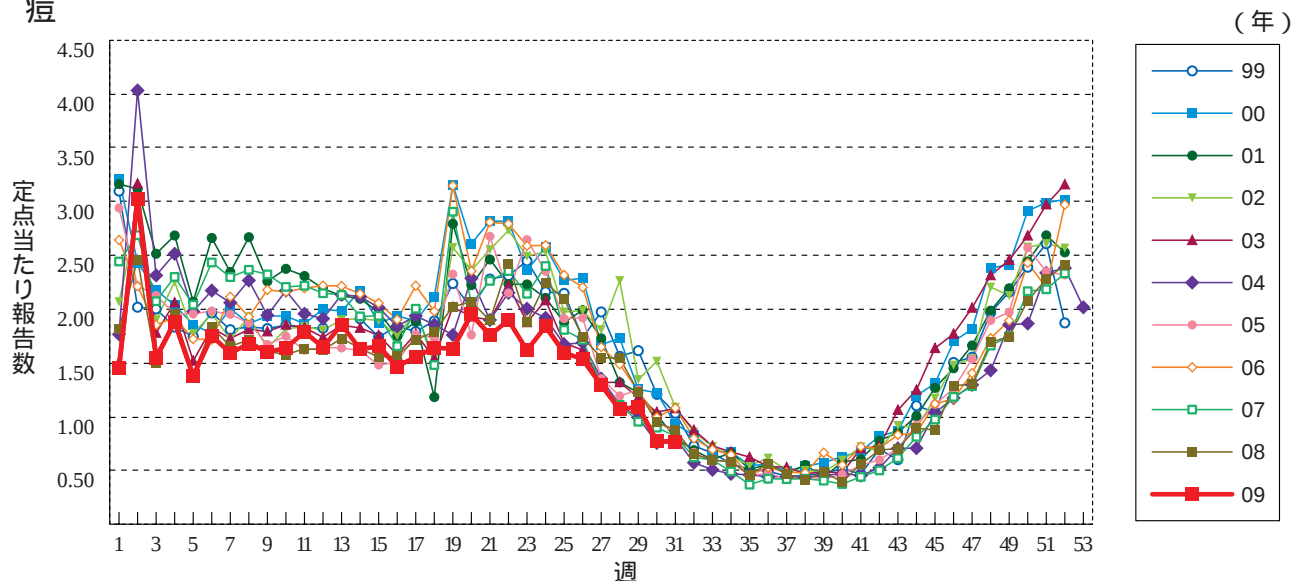
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



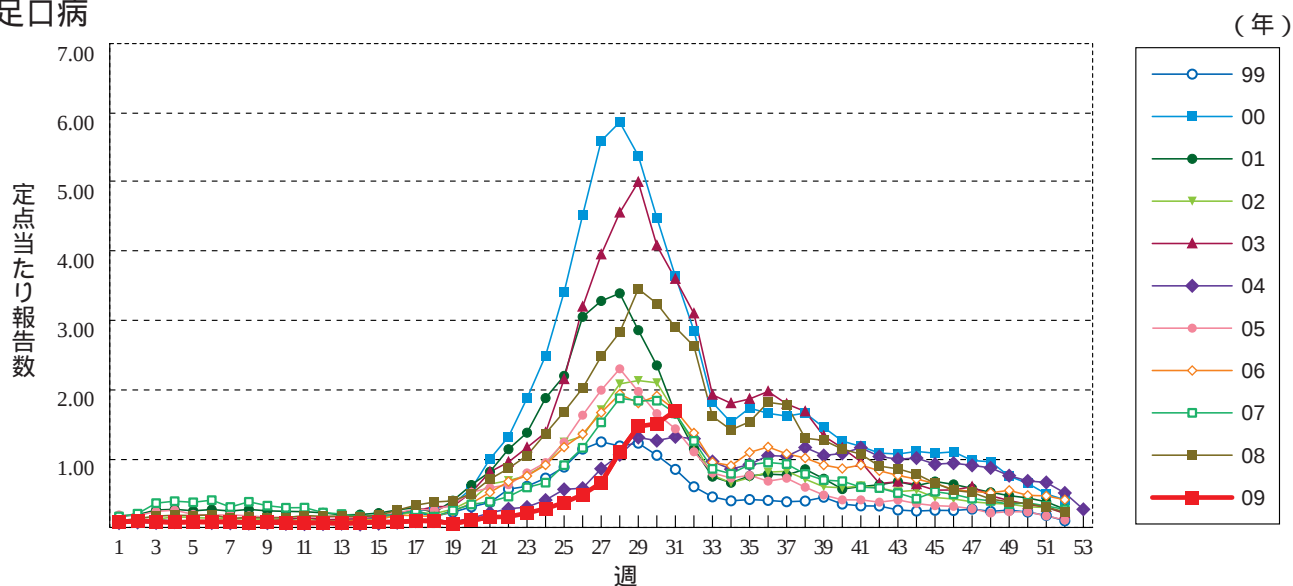
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



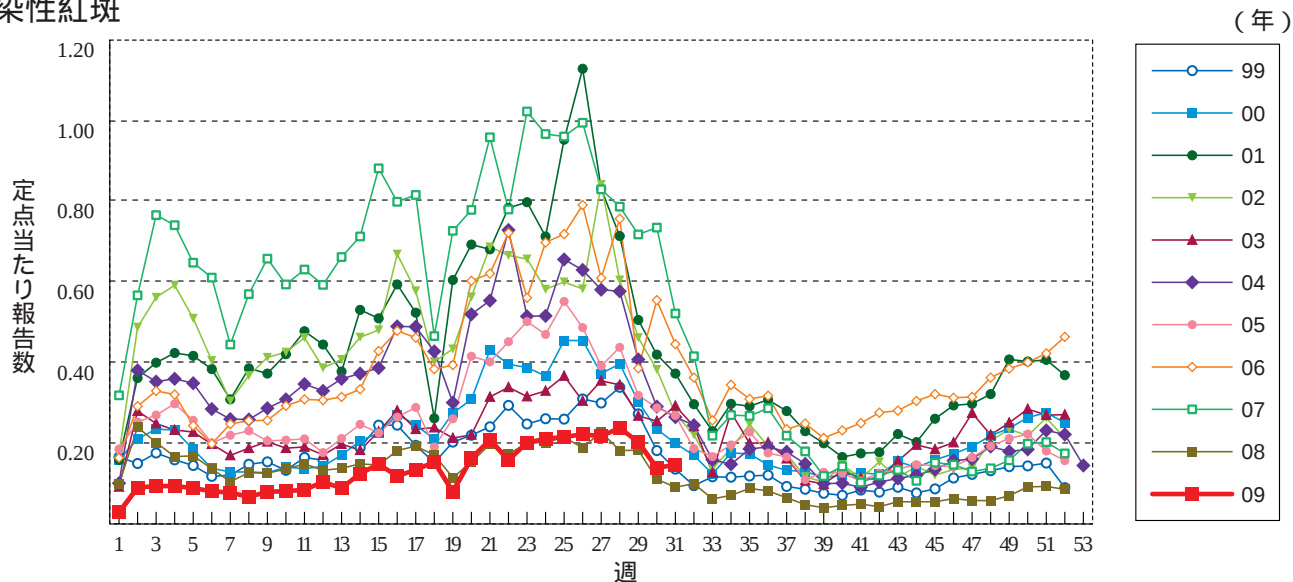
水痘



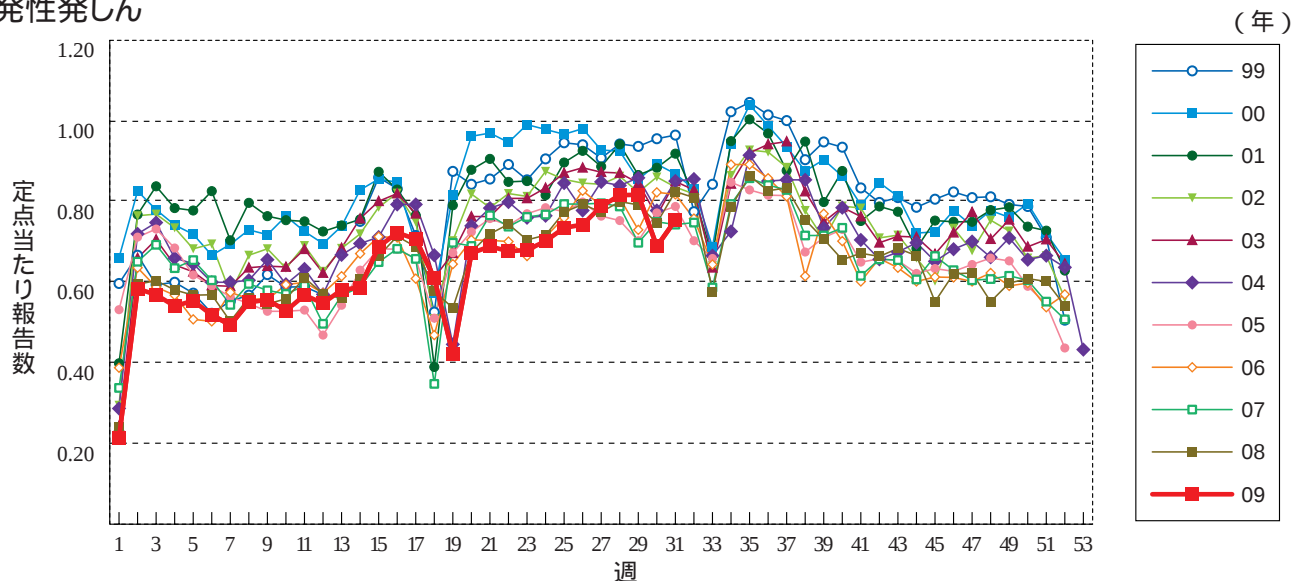
手足口病



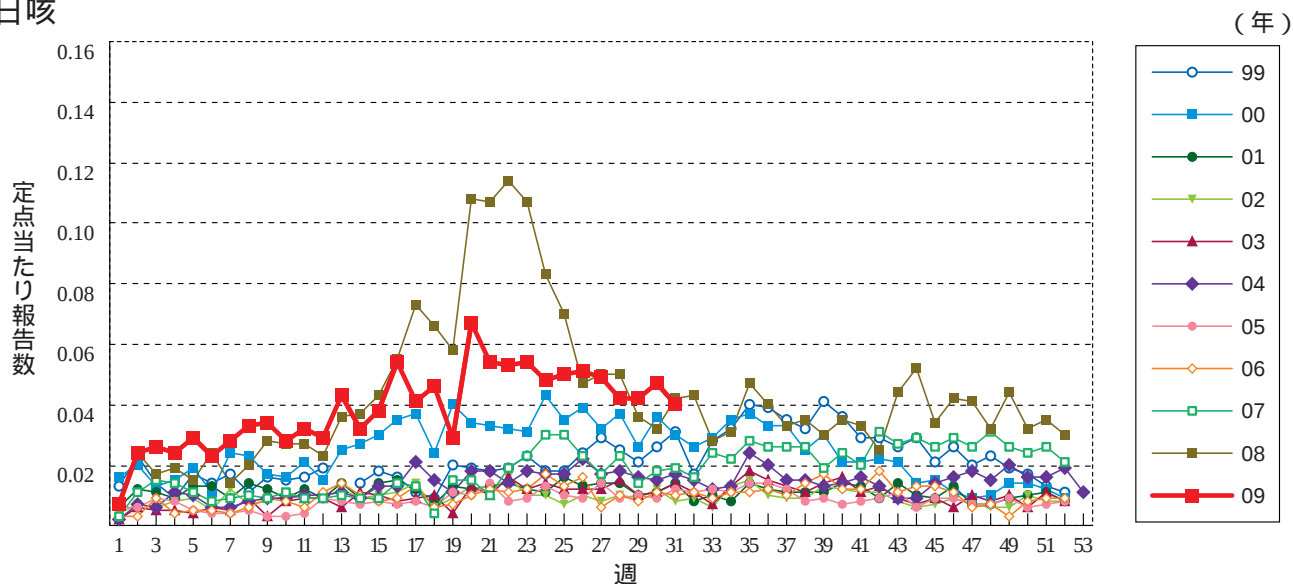
伝染性紅斑



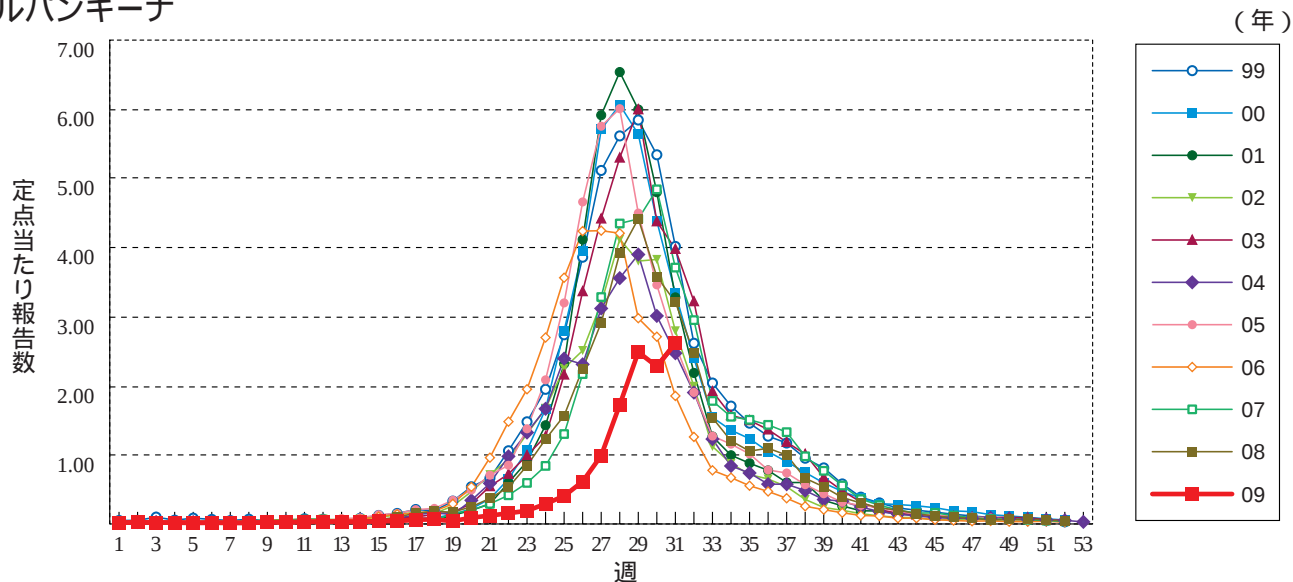
突発性発しん



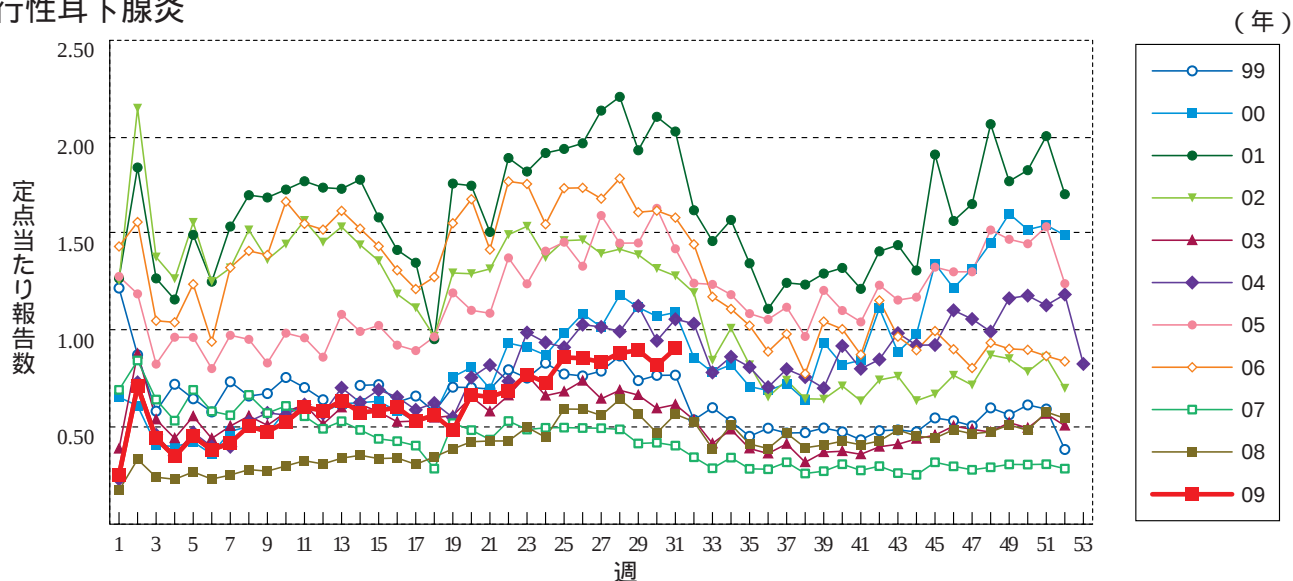
百日咳



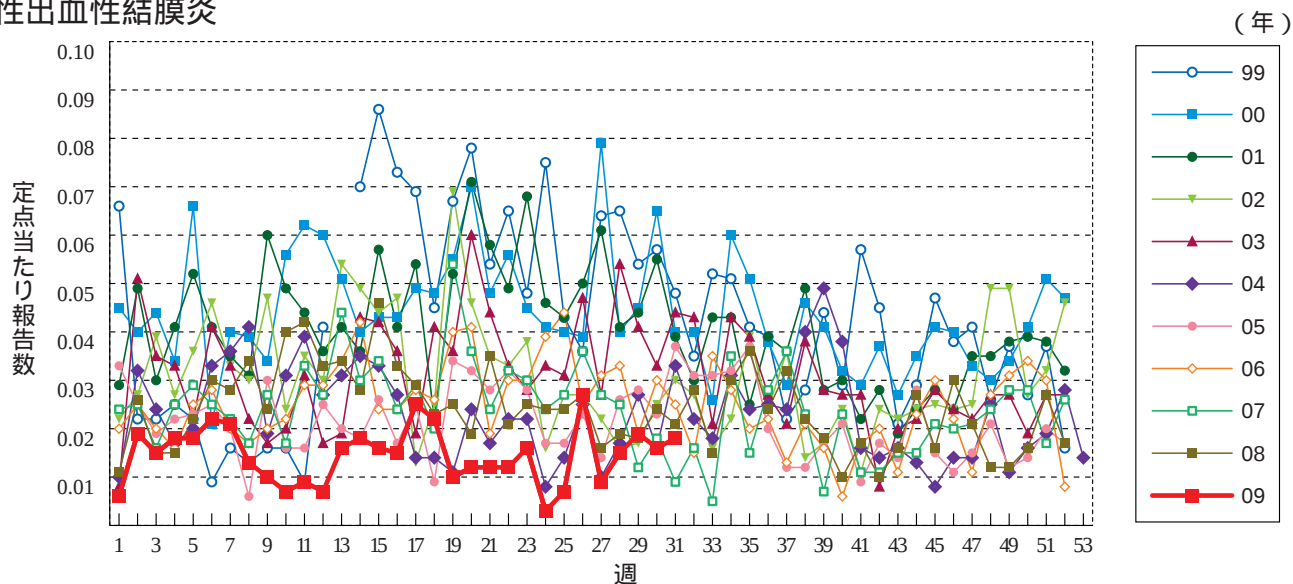
ヘルパンギーナ



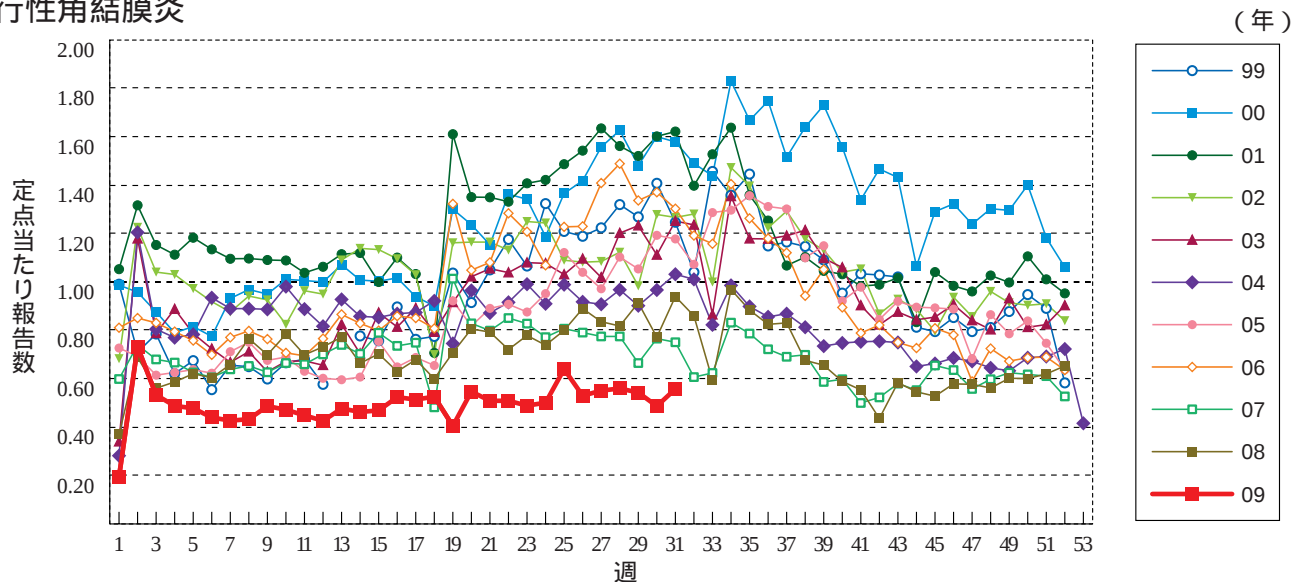
流行性耳下腺炎



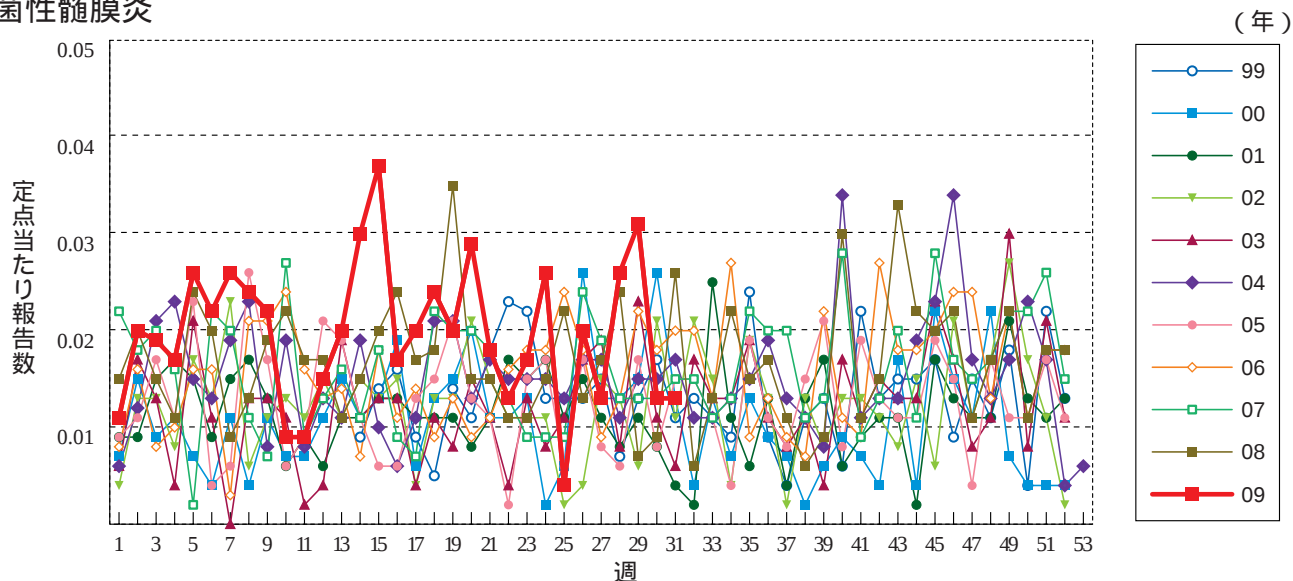
急性出血性結膜炎



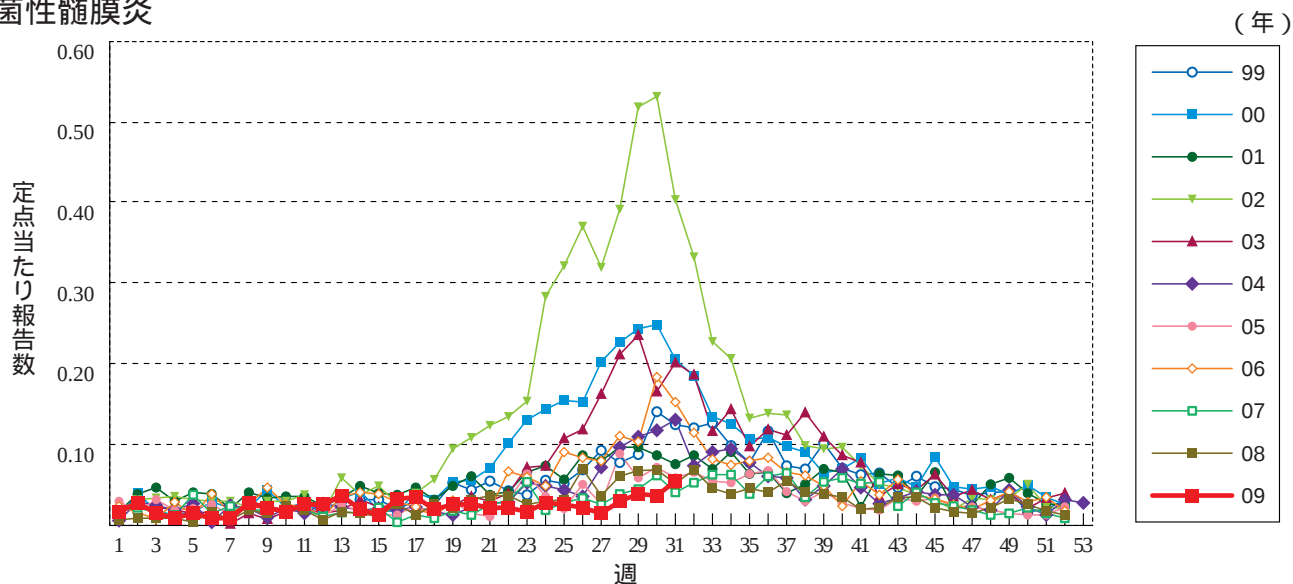
流行性角結膜炎



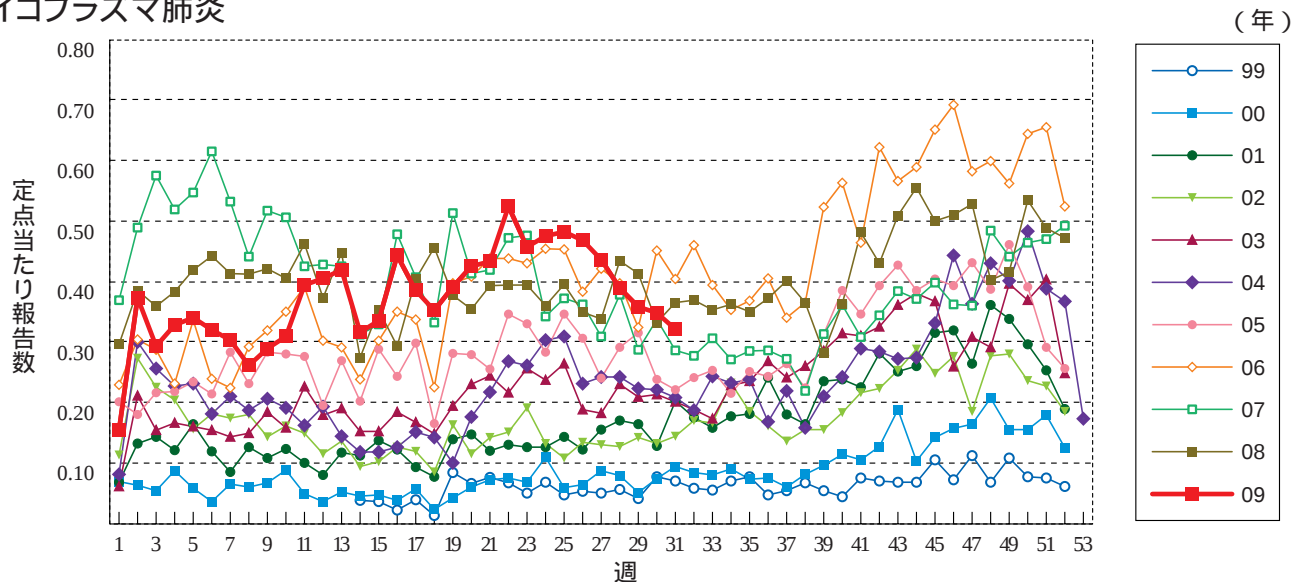
細菌性髄膜炎



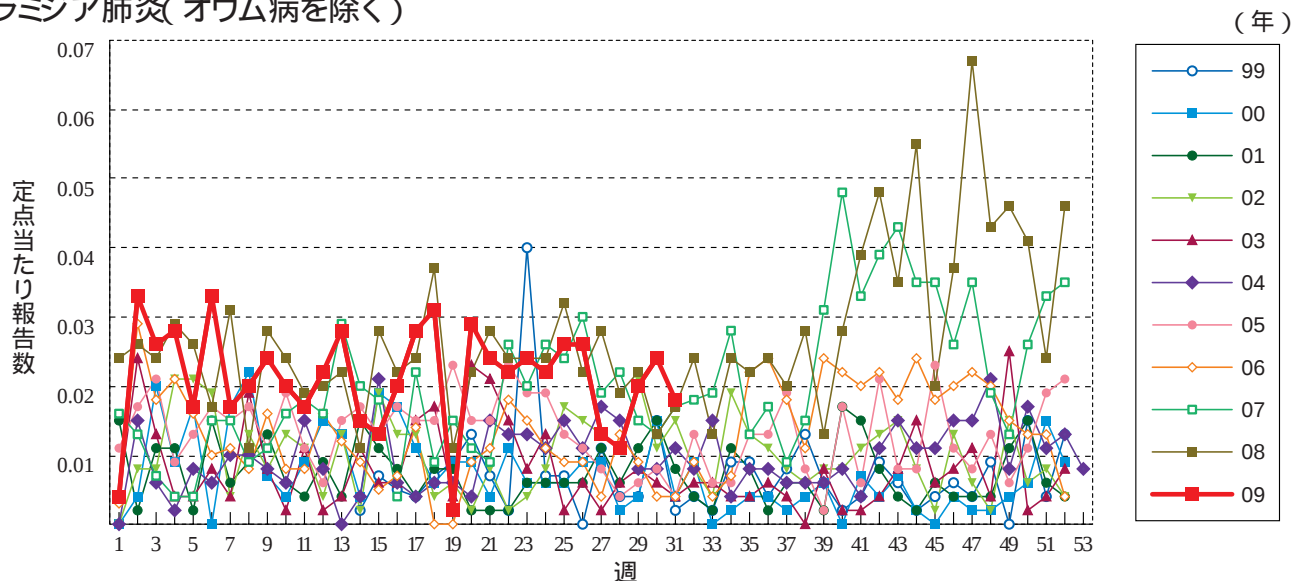
無菌性髄膜炎



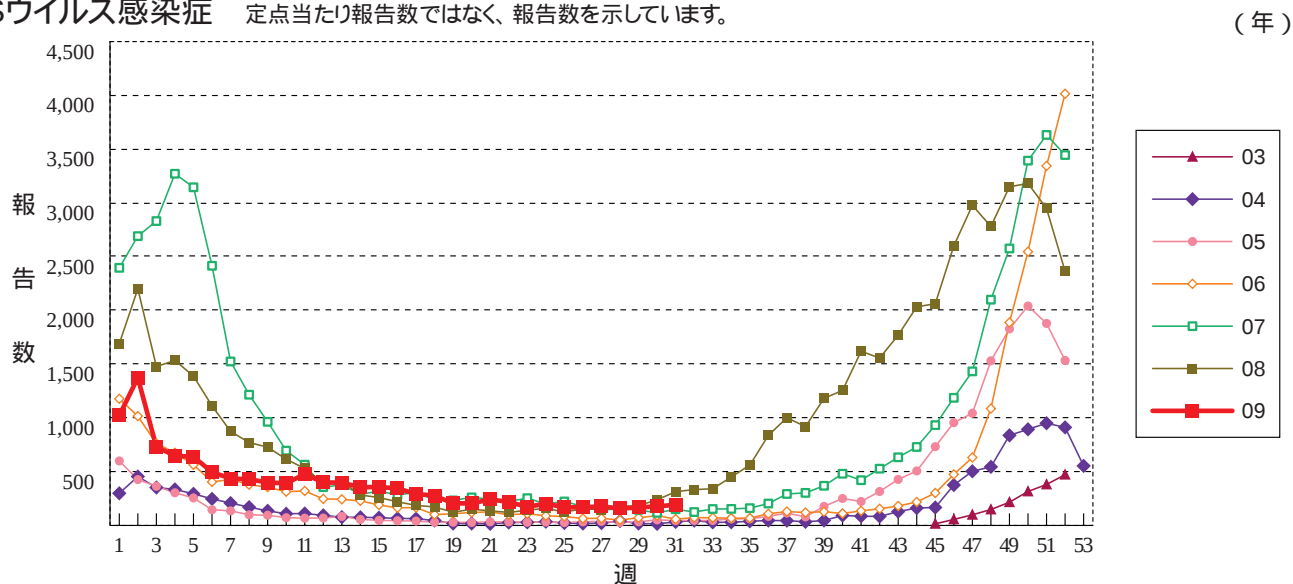
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





31週のデータ

注) 表中の報告数は8月5日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年31週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	338	15387
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	464
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	214
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	108
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	198
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	84
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	114
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	179
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	273
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	185
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	718
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	871
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	2338
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	1121
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	198
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	119
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	109
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	93
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	67
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	174
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	289
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	423
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32	1189
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	224
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	170
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	384
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	823
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	531
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	174
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	171
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	93
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	153
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	359
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	166
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	121
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	154
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	180
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	98
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	664
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	118
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	204
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	199
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	169
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	166
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	224
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	180

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年31週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	6	3	99	136	1594	1	19	-	13	1	27
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	42	-	1	-	-	1	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	28	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	27	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	53	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	10	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	29	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	4	48	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	5	75	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	1	1	22	16	120	1	10	-	6	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	1	82	-	-	-	2	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	5	24	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9	48	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	14	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	14	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	28	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	6	84	-	2	-	3	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	12	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	26	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	3	69	-	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	77	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	13	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	1	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	46	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	23	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	56	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	108	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	15	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	66	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	30	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	35	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年31週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	3	81	-	15	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	1	-	13	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	10	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	1	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年31週

	狂 犬 病		コクシジ オイデス症		サル 痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105	-	36
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
東京都	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	12
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年31週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	5	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	4	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2009年31週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	-	-	2	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年31週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	19	398	-	6	-	-	10	477	3	127	4	135	-	12	3	72
北海道	-	-	-	12	-	-	-	-	1	13	-	1	-	2	-	2	-	1
青森県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
岩手県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	12	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
福島県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	4	-	2	-	4	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	5	-	2	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	4	-	5	1	3	-	-	-	2
埼玉県	-	-	1	17	-	-	-	-	1	17	-	10	1	11	-	-	-	2
千葉県	-	-	2	15	-	1	-	-	-	37	-	1	1	13	-	-	-	1
東京都	-	-	1	28	-	-	-	-	3	77	-	22	-	14	-	1	-	9
神奈川県	-	-	-	22	-	1	-	-	-	39	-	7	-	3	-	-	-	7
新潟県	-	-	2	11	-	1	-	-	-	5	-	-	-	7	-	-	-	-
富山県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	1	11	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1
長野県	-	-	1	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	1	17	-	-	-	-	-	7	1	2	-	2	-	-	-	2
愛知県	-	-	3	21	-	-	-	-	1	32	1	8	-	3	-	-	-	5
三重県	-	-	-	8	-	1	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	4	-	-	-	-	1	8	-	1	-	1	-	-	1	2
京都府	-	-	-	9	-	-	-	-	-	15	-	5	-	2	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	20	-	-	-	-	2	59	-	9	1	24	-	-	-	4
兵庫県	-	-	1	22	-	-	-	-	-	25	-	9	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	11	-	5	-	2	-	-	-	-
広島県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	8	-	4	-	-	-	3
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	1	1
福岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	1	13	1	5	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	1	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	5	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2009年31週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症 候 群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄 膜 炎		先天性風しん 症 候 群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	77	18	880	1	49	-	9	-	-	5	430	2	61	-	-	1	55
北海道	-	3	-	19	-	3	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	3
青森県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	1	3	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	3	-	16	-	2	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	11	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	19	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	3	1	27	-	2	-	2	-	-	1	13	-	4	-	-	-	3
東京都	-	8	5	287	-	15	-	1	-	-	1	118	-	3	-	-	-	8
神奈川県	-	6	1	51	-	5	-	1	-	-	-	22	-	2	-	-	1	11
新潟県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	1
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	1	4	-	3	-	-	-	2
岐阜県	-	2	-	8	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	4	-	17	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1	-	-	-	2
愛知県	-	8	1	55	-	1	-	1	-	-	-	26	-	2	-	-	-	1
三重県	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	1	-	17	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	3	6	149	-	7	-	-	-	-	-	48	-	4	-	-	-	4
兵庫県	-	6	-	28	-	1	-	-	-	-	-	7	1	2	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
島根県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1
広島県	-	3	-	16	-	1	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	28	-	1	-	2	-	-	1	36	-	2	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	14	-	2	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	6	1	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年31週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	5	113	8	528
北海道	-	4	-	11
青森県	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	2
宮城県	-	1	-	5
秋田県	-	1	-	-
山形県	-	-	-	7
福島県	-	1	-	7
茨城県	-	2	-	8
栃木県	-	2	-	10
群馬県	-	1	-	8
埼玉県	-	4	-	35
千葉県	1	8	1	78
東京都	-	8	-	77
神奈川県	1	12	3	71
新潟県	3	4	-	9
富山県	-	-	-	2
石川県	-	1	-	1
福井県	-	-	-	4
山梨県	-	-	-	1
長野県	-	-	-	10
岐阜県	-	2	1	6
静岡県	-	-	-	10
愛知県	-	4	-	21
三重県	-	2	-	1
滋賀県	-	2	-	2
京都府	-	1	-	7
大阪府	-	11	1	44
兵庫県	-	5	-	4
奈良県	-	2	-	3
和歌山県	-	3	-	7
鳥取県	-	-	-	2
島根県	-	1	-	-
岡山県	-	2	-	6
広島県	-	3	-	11
山口県	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	1
香川県	-	-	-	4
愛媛県	-	-	-	5
高知県	-	1	-	-
福岡県	-	21	2	21
佐賀県	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	3
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	2	-	2
宮崎県	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	4

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年31週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2655	0.56	914	0.30	2210	0.73	9200	3.05	2321	0.77	5101	1.69	443	0.15	2275	0.75	122	0.04
北海道	15	0.07	135	0.94	166	1.16	221	1.55	166	1.16	24	0.17	6	0.04	77	0.54	2	0.01
青森県	-	-	14	0.33	28	0.67	53	1.26	37	0.88	206	4.90	7	0.17	22	0.52	-	-
岩手県	4	0.06	7	0.18	21	0.53	64	1.60	41	1.03	3	0.08	4	0.10	31	0.78	-	-
宮城県	9	0.09	25	0.42	43	0.72	201	3.35	67	1.12	13	0.22	2	0.03	68	1.13	-	-
秋田県	2	0.04	9	0.26	26	0.74	110	3.14	9	0.26	99	2.83	1	0.03	21	0.60	1	0.03
山形県	-	-	5	0.17	29	1.00	97	3.34	26	0.90	7	0.24	-	-	25	0.86	1	0.03
福島県	11	0.14	16	0.33	32	0.67	79	1.65	42	0.88	11	0.23	6	0.13	34	0.71	3	0.06
茨城県	58	0.48	36	0.48	64	0.85	131	1.75	29	0.39	82	1.09	9	0.12	29	0.39	3	0.04
栃木県	18	0.24	1	0.02	29	0.60	80	1.67	22	0.46	199	4.15	3	0.06	36	0.75	-	-
群馬県	5	0.05	5	0.08	31	0.50	205	3.31	41	0.66	39	0.63	8	0.13	45	0.73	1	0.02
埼玉県	120	0.49	68	0.43	153	0.97	516	3.29	143	0.91	205	1.31	35	0.22	123	0.78	-	-
千葉県	116	0.57	20	0.15	101	0.77	328	2.50	124	0.95	325	2.48	23	0.18	100	0.76	8	0.06
東京都	276	0.97	39	0.27	95	0.65	458	3.14	80	0.55	292	2.00	45	0.31	91	0.62	2	0.01
神奈川県	136	0.43	53	0.26	140	0.69	564	2.78	129	0.64	518	2.55	173	0.85	172	0.85	10	0.05
新潟県	11	0.11	29	0.48	76	1.25	114	1.87	54	0.89	67	1.10	3	0.05	45	0.74	6	0.10
富山県	2	0.04	13	0.46	41	1.46	111	3.96	18	0.64	7	0.25	-	-	21	0.75	-	-
石川県	24	0.50	18	0.62	13	0.45	82	2.83	41	1.41	11	0.38	-	-	14	0.48	1	0.03
福井県	4	0.13	6	0.27	31	1.41	130	5.91	20	0.91	9	0.41	-	-	20	0.91	-	-
山梨県	3	0.08	4	0.17	20	0.83	53	2.21	1	0.04	29	1.21	6	0.25	10	0.42	-	-
長野県	13	0.15	11	0.20	60	1.09	130	2.36	60	1.09	26	0.47	4	0.07	42	0.76	-	-
岐阜県	30	0.35	17	0.32	17	0.32	88	1.66	36	0.68	80	1.51	2	0.04	32	0.60	-	-
静岡県	31	0.25	26	0.31	60	0.71	257	3.02	28	0.33	109	1.28	7	0.08	55	0.65	4	0.05
愛知県	67	0.35	40	0.22	112	0.62	493	2.72	112	0.62	138	0.76	5	0.03	160	0.88	2	0.01
三重県	17	0.25	7	0.16	26	0.58	224	4.98	39	0.87	29	0.64	9	0.20	36	0.80	-	-
滋賀県	50	0.96	10	0.32	11	0.35	109	3.52	19	0.61	61	1.97	-	-	17	0.55	1	0.03
京都府	50	0.40	15	0.20	33	0.44	267	3.56	29	0.39	66	0.88	2	0.03	41	0.55	1	0.01
大阪府	464	1.68	37	0.20	132	0.71	684	3.68	141	0.76	157	0.84	25	0.13	133	0.72	2	0.01
兵庫県	89	0.45	28	0.22	63	0.49	415	3.24	103	0.80	108	0.84	18	0.14	109	0.85	3	0.02
奈良県	52	0.95	12	0.34	11	0.31	90	2.57	18	0.51	18	0.51	1	0.03	19	0.54	1	0.03
和歌山県	24	0.49	3	0.10	9	0.29	62	2.00	25	0.81	22	0.71	1	0.03	23	0.74	1	0.03
鳥取県	2	0.07	1	0.05	19	1.00	79	4.16	14	0.74	13	0.68	1	0.05	11	0.58	-	-
島根県	8	0.21	6	0.26	27	1.17	105	4.57	12	0.52	24	1.04	1	0.04	23	1.00	-	-
岡山県	18	0.21	17	0.31	15	0.28	244	4.52	28	0.52	34	0.63	7	0.13	27	0.50	-	-
広島県	41	0.36	17	0.24	32	0.45	239	3.37	52	0.73	28	0.39	3	0.04	40	0.56	7	0.10
山口県	29	0.41	4	0.08	66	1.32	197	3.94	35	0.70	60	1.20	11	0.22	43	0.86	3	0.06
徳島県	6	0.17	7	0.30	17	0.74	70	3.04	42	1.83	37	1.61	-	-	19	0.83	3	0.13
香川県	3	0.06	7	0.25	17	0.61	84	3.00	11	0.39	18	0.64	2	0.07	24	0.86	-	-
愛媛県	15	0.25	17	0.46	16	0.43	156	4.22	23	0.62	244	6.59	4	0.11	43	1.16	15	0.41
高知県	2	0.04	16	0.53	15	0.50	77	2.57	40	1.33	2	0.07	-	-	16	0.53	2	0.07
福岡県	58	0.29	33	0.28	82	0.68	476	3.97	134	1.12	902	7.52	-	-	114	0.95	10	0.08
佐賀県	-	-	2	0.09	4	0.17	32	1.39	11	0.48	141	6.13	1	0.04	25	1.09	-	-
長崎県	55	0.79	4	0.09	27	0.61	101	2.30	27	0.61	91	2.07	1	0.02	29	0.66	1	0.02
熊本県	1	0.01	11	0.23	31	0.65	200	4.17	29	0.60	186	3.88	-	-	48	1.00	-	-
大分県	2	0.04	12	0.34	39	1.11	269	7.69	30	0.86	186	5.31	1	0.03	43	1.23	-	-
宮崎県	13	0.22	19	0.53	56	1.56	225	6.25	56	1.56	110	3.06	4	0.11	62	1.72	26	0.72
鹿児島県	17	0.18	22	0.40	62	1.13	175	3.18	56	1.02	56	1.02	1	0.02	42	0.76	-	-
沖縄県	684	11.79	10	0.29	12	0.35	55	1.62	21	0.62	9	0.26	1	0.03	15	0.44	2	0.06

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2009年31週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総 数	7887	2.61	2740	0.91	12	0.02	373	0.56	6	0.01	25	0.05	147	0.32	8	0.02	193
北海道	71	0.50	98	0.69	-	-	7	0.24	-	-	2	0.09	5	0.22	-	-	29
青森県	32	0.76	12	0.29	-	-	3	0.27	-	-	-	-	8	1.33	-	-	-
岩手県	33	0.83	14	0.35	-	-	4	0.29	-	-	-	-	5	0.26	1	0.05	3
宮城県	23	0.38	29	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1.42	-	-	18
秋田県	40	1.14	15	0.43	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-
山形県	24	0.83	48	1.66	-	-	2	0.25	-	-	2	0.20	4	0.40	-	-	1
福島県	38	0.79	62	1.29	-	-	6	0.50	1	0.14	-	-	5	0.71	-	-	5
茨城県	31	0.41	32	0.43	-	-	23	1.35	-	-	-	-	3	0.23	-	-	-
栃木県	55	1.15	30	0.63	-	-	2	0.17	-	-	-	-	4	0.57	4	0.57	-
群馬県	176	2.84	21	0.34	-	-	21	1.50	-	-	-	-	8	1.00	-	-	-
埼玉県	203	1.29	246	1.57	2	0.05	17	0.40	-	-	-	-	9	1.00	3	0.33	6
千葉県	213	1.63	168	1.28	1	0.03	15	0.48	-	-	-	-	3	0.33	-	-	3
東京都	257	1.76	126	0.86	2	0.05	17	0.44	1	0.04	2	0.08	10	0.42	-	-	7
神奈川県	551	2.71	162	0.80	3	0.08	45	1.15	-	-	2	0.29	-	-	-	-	15
新潟県	146	2.39	39	0.64	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.25	-	-	1
富山県	129	4.61	17	0.61	-	-	2	0.29	-	-	1	0.20	3	0.60	-	-	-
石川県	43	1.48	35	1.21	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3
福井県	21	0.95	95	4.32	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-
山梨県	30	1.25	1	0.04	-	-	1	0.11	-	-	-	-	2	0.20	-	-	-
長野県	75	1.36	8	0.15	-	-	7	0.64	-	-	-	-	3	0.27	-	-	-
岐阜県	147	2.77	26	0.49	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	340	4.00	47	0.55	-	-	7	0.35	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	1030	5.69	164	0.91	-	-	7	0.21	-	-	2	0.13	6	0.40	-	-	3
三重県	271	6.02	37	0.82	-	-	4	0.33	-	-	1	0.11	-	-	-	-	5
滋賀県	88	2.84	14	0.45	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-
京都府	125	1.67	40	0.53	-	-	8	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	956	5.14	164	0.88	-	-	10	0.21	1	0.09	-	-	5	0.45	-	-	28
兵庫県	488	3.81	60	0.47	2	0.06	32	0.91	-	-	2	0.22	-	-	-	-	3
奈良県	69	1.97	51	1.46	1	0.11	3	0.33	-	-	4	0.67	-	-	-	-	-
和歌山県	100	3.23	45	1.45	-	-	2	0.50	-	-	-	-	2	0.18	-	-	2
鳥取県	73	3.84	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	1
島根県	133	5.78	17	0.74	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.13	-	-	-
岡山県	143	2.65	11	0.20	-	-	10	0.83	-	-	-	-	2	0.40	-	-	1
広島県	187	2.63	61	0.86	-	-	19	1.00	1	0.05	1	0.05	3	0.14	-	-	13
山口県	155	3.10	29	0.58	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.22	-	-	1
徳島県	38	1.65	12	0.52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	37	1.32	2	0.07	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20	-	-	4
愛媛県	202	5.46	41	1.11	-	-	16	2.00	1	0.17	-	-	7	1.17	-	-	-
高知県	10	0.33	16	0.53	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	380	3.17	265	2.21	-	-	10	0.38	-	-	-	-	2	0.13	-	-	6
佐賀県	39	1.70	63	2.74	-	-	2	0.50	-	-	1	0.17	-	-	-	-	-
長崎県	30	0.68	121	2.75	1	0.13	-	-	-	-	1	0.08	2	0.17	-	-	-
熊本県	181	3.77	44	0.92	-	-	18	2.00	-	-	2	0.13	3	0.20	-	-	-
大分県	270	7.71	50	1.43	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	131	3.64	49	1.36	-	-	20	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	66	1.20	18	0.33	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	15
沖縄県	7	0.21	30	0.88	-	-	9	0.90	1	0.14	-	-	16	2.29	-	-	13

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2009年31週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペ ス ト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結 核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2009年31週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第11巻 第31号 2009年8月14日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。